

2023年度 診療のご案内



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

Osaka Habikino Medical Center



地域に信頼され、 地域になくてはならない病院へ

大阪はびきの医療センター 院長 山口 誓司



日頃より当センターの運営にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。当センターは、「地域に信頼され、地域になくてはならない病院」として、南河内地域の医療ニーズに応える総合的な医療の拠点病院として、さらに呼吸器、肺がん、アレルギー、感染症等の専門病院としての取組みを進めております。

当センターは大阪府立結核療養所羽曳野病院として昭和27年に開院し、その後大阪府立羽曳野病院、さらに大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターへと名称を変更し、平成29年に現在の大阪はびきの医療センターへと改称しました。その間、結核はもとより難治性の呼吸器疾患とアレルギー疾患の専門病院として高度専門医療に対応してまいりました。平成22年には大阪府がん診療拠点病院に、平成30年には大阪府アレルギー疾患医療拠点病院に指定されています。令和3年には大阪府より地域医療支援病院の承認を受け、南河内地域の基幹病院としての機能を提供すべく、院内整備を進めております。

令和5年5月に新病院が開院して、高度専門医療を提供できる体制が整いました。呼吸器・アレルギー・感染症などの専門医療の強みを活かしつつ、地域の中核病院として、ロボット支援手術システムやハイブリッド手術室など最新鋭の医療機器を整備し、急性期医療やがん診療などの機能強化を図るとともに、患者さんの利便性の向上や療養環境の充実も図っております。

今後も地域の先生方の御指導をいただきながら地域医療支援病院としての機能充実に図りつつ、南河内地域の医療の発展に寄与していきたいと考えております。今後とも御支援の程宜しくお願い申し上げます。



沿革

1952年12月	大阪府立結核療養所羽曳野病院として開院 病床数320床
1957年10月	病床数1,000床に変更
1976年 4月	大阪府立羽曳野病院に改称
2003年10月	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターに改称
2006年 4月	地方独立行政法人大阪府立病院機構設立に伴い、事業移行
2010年 4月	大阪府がん診療拠点病院(肺がん)に指定
2014年 4月	第二種感染症病床設置 (6床)
2015年 3月	日本医療機能評価機構評価認定 (3rdG : Ver1.0~)
2017年 4月	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センターに改称
2018年 4月	一般病床360床、結核病床60床、第二種感染症病床 6床に変更
2018年 6月	大阪府アレルギー疾患医療拠点病院に指定
2021年 3月	地域医療支援病院の承認
2023年 5月	新病院開院 病床数405床 (一般病床354床、結核病床45床、第二種感染症病床 6床)

INDEX

02	院長挨拶・沿革	12	外来診察担当医師表
04	診療機能	14	診療科一覧
05	主な医療機器	16	診療科紹介
06	診療機能の特色	46	診療予約申込書
08	患者総合支援センターのご案内	47	CT・MRI・RI検査予約申込書
10	外来診療のご案内		
11	オンライン予約システム		

「専門医療と基幹病院としての高度・急性期医療」を提供 新病院 令和5年5月オープン！

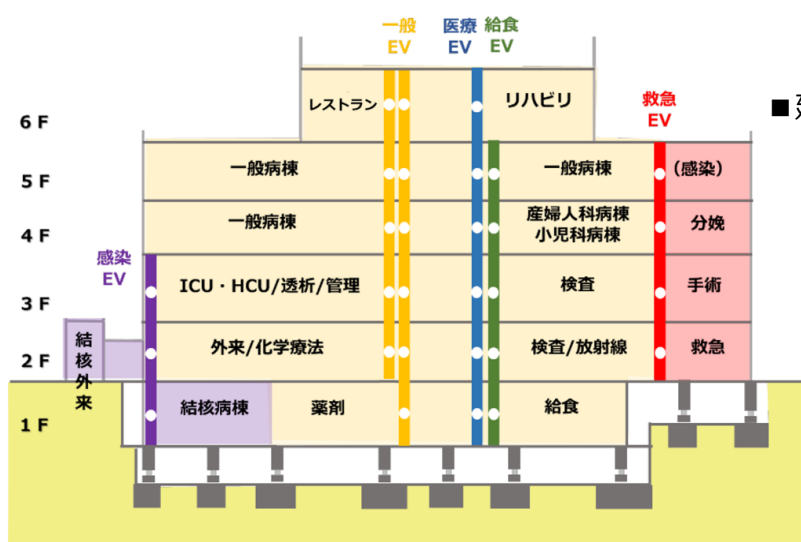
診療機能

1 呼吸器・アレルギー・感染症など専門医療機能の充実

- アレルギー・アトピーなど専門医療の充実
- 感染症（結核、コロナなど）への対応強化

2 地域の基幹病院としての高度専門・急性期医療機能の強化

- 急性期機能の強化
 - ・救急部門、手術部門、画像診断部門、内視鏡部門の拡充、手術室6室（ハイブリッド手術室含む）、ICU 4床、HCU12床、NICU 3床
- がん診療拠点病院機能の充実
 - ・がん医療体制の強化（肺、消化器、乳腺、生殖器・泌尿器 他）
 - ・外来化学療法室の拡大（20床）
- 生活習慣病への対策強化（高齢者特有の疾病への対応力向上）
 - ・新規診療科の開設（糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、心臓血管外科、歯科口腔外科）
- 分娩室・NICU隣接配置による連携強化



詳細はこちらを
ご覧ください

▶ 登録医の登録をお願いいたします ～新病院開院でさらなる地域連携を～

新病院では2階の患者総合支援センターですべての地域医療機関からの紹介患者さんの受付を行い、診察へと円滑につなげるようにしております。

登録医の先生方には、共同診療を行える開放病床を設置しておりますので、ぜひご利用のほどをお願いいたします。また、勉強会の開催も随時企画してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

主な医療機器



■ Dual Source CT装置
シーメンス製 SOMATOM Drive



■ 3T 磁気共鳴画像診断装置 (MRI)
シーメンス製 MAGNETOM Vida



■ ハイブリッド手術室用血管造影X線装置
フィリップス製 Azurion7 M20 FlexArm



■ 血管造影X線装置
フィリップス製 Azurion7 C20



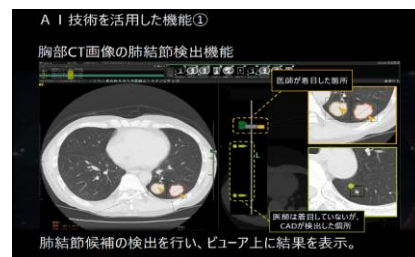
■ 内視鏡手術支援ロボット
インテュイティブサージカル製 Da Vinci Xi



■ ロボティックアーム手術支援装置
(股関節・膝関節用)
ストライカー製 Makoシステム



■ 結石破碎装置
Modulith SLX-F2



■ AIを活用した読影支援システム
富士フィルム社製 読影ビューアシステム

診療機能の特色

呼吸器・アレルギー・感染症

●大阪府域の呼吸器疾患中核病院

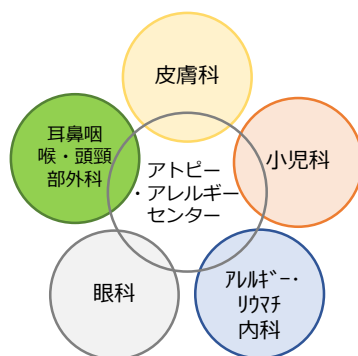
- ・急性及び慢性の呼吸不全に対し、専門の医師・看護師・理学療法士が連携して、急性期の集中治療から慢性期の治療・ケア、呼吸リハ、在宅呼吸ケアまで、包括的な診療を実施。

●大阪府アレルギー疾患医療拠点病院

- ・難治性アレルギー疾患の診療をさらに充実させるとともに、アレルギー疾患に関する診療連携体制の構築や人材育成等、地域の医療機関や学校関係者、患者会等とも連携し、アレルギー疾患治療の提供体制を確立するとともに、情報の発信を実施。

●第二種感染症指定医療機関・結核指定医療機関

- ・新型インフルエンザ、COVID-19、SARS等の新興感染症をはじめ、重症肺感染症、結核等の診療および、各種併発症をもつ結核患者の治療など多種の感染症疾患に対応。
- ・小児および妊婦結核に対応可能な府内唯一の医療機関。院内感染対策を実施、他施設への指導も行っており、府の結核対策や政策医療に対応した診療・研究・専門医育成活動を実施。



がん診療

●大阪府がん診療拠点病院

- ・集学的治療の実施によるがん医療の質の向上に努めるとともに緩和ケアの充実、在宅医療の支援、がん患者・家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の機能を備え、総合的ながん医療を提供。
- ・当センターの強みである肺がんについては、大阪府内で3番目のDPC症例数（令和2年度）を診療。また、消化器がん、乳がん、生殖器がん、泌尿器がんなど幅広いがんにも対応し、集学的治療を展開できる体制を整備。



低侵襲治療（ロボット支援手術、ハイブリッド手術 等）

● 最新の手術システム

- ・治療後の早期社会復帰を図るため、新病院では「内視鏡手術支援ロボット」「ロボティックアーム手術支援装置（股関節・膝関節用）」「ハイブリッド手術室用血管造影X線装置」など最新鋭の医療機器を積極的に導入、更なる低侵襲治療に取り組む。



地域医療

● 地域医療支援病院

- ・紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用、救急、地域の医療従事者への研修などにより、地域医療を担うかかりつけ医等を支援し、地域医療の確保を図る。

● 南河内医療圏の分娩を支える医療機関

- ・年間分娩件数は約1,000件と南河内医療圏において多くの分娩を担う。

● 大阪府小児地域医療センター

- ・小児救急搬送受入について24時間365日体制を整備。

● 糖尿病・腎臓病・循環器疾患など生活習慣病への対応

- ・地域の医療機関と連携し、超高齢化社会における地域住民の健康寿命の延伸を図る。

救急・災害医療

● 大阪府二次救急告示医療機関

- ・呼吸器疾患をはじめ急性腹症、循環器疾患など幅広い救急診療を提供。

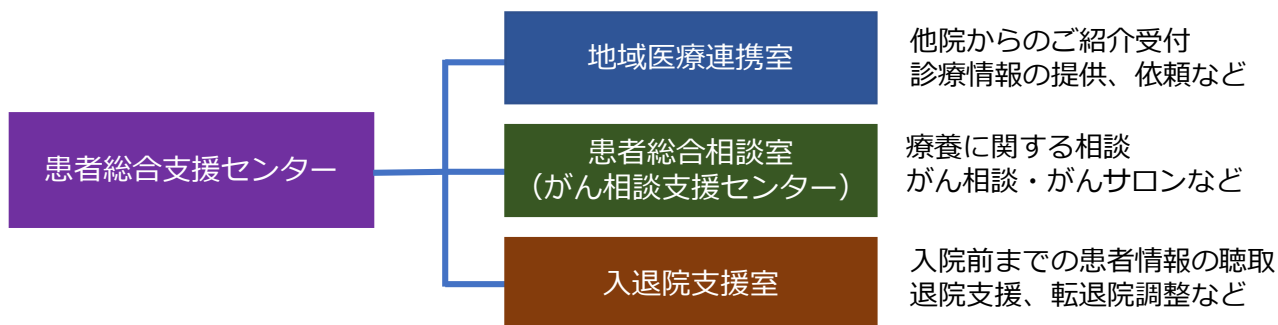
● 大阪府特定診療災害医療センター

- ・災害時に呼吸器疾患、アレルギー疾患、小児・周産期医療等の広域での専門医療を担う。



★5月8日（新病院開院）より患者総合支援センターが変わりました。

患者総合支援センターのご案内



- 紹介状をお持ちの患者さんは事前予約にかかわらず、患者総合支援センター（地域医療連携室）ですべて 対応いたします。
ご紹介いただいた患者さんが、スムーズに診療を受けていただけるようご案内させていただきます。
- 患者さんの療養相談は、新病院では患者総合支援センターの中にプライバシーに配慮した面談室も設けました。また、がんサロンの設置など、がん患者への対応も充実してまいります。
(患者総合相談室)
- 患者総合支援センター（入退院支援室）では、患者さんの状態を入院前から把握し、医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師などの専門職が退院後を見据えた在宅支援をさらに充実させてまいります。



患者総合支援センター受付



患者面談ブース

紹介患者の受診の流れ

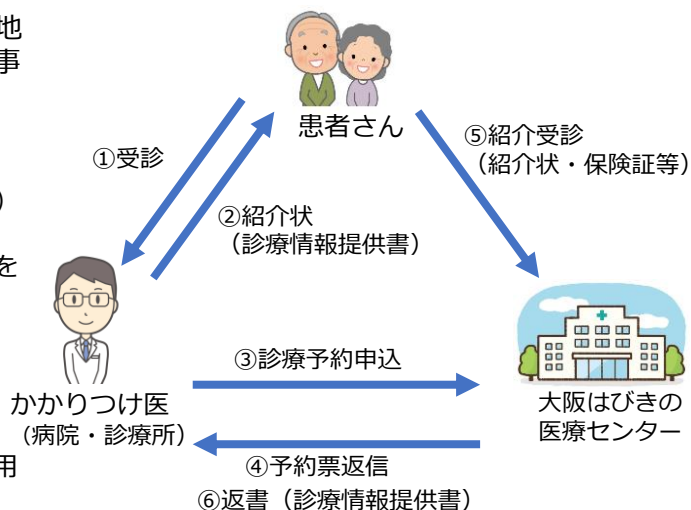
紹介患者さんの待ち時間短縮のため、事前に地域医療連携室へのFAXまたは、オンライン（事前登録必要）によるご予約をお願いします。

●FAXの場合

- ① 診察予約申込書と診療情報提供書（紹介状）をお送りください。
- ② 予約日時が決まりましたら「予約通知書」をFAXで送信いたします。
- ③ 患者さんに予約日時等をご説明いただき、予約通知書・紹介状等をお渡しください。

●オンライン予約の場合

オンライン予約システム「C@RNA」をご利用ください。



患者総合支援センター（地域医療連携室）

TEL (直通) **072-957-8030** TEL (代表) **072-957-2121**

FAX **072-957-8051** メールアドレス habikino-chiiki@ra.opho.jp

登録医制度のご案内

地域の医療機関の先生方と当センターとの相互の機能を有効に活用し、医療連携を深め広げること
で、地域全体として患者さんにより質の高い医療を提供していくことを目的として登録医制度を実
施しております。

- メリット
 - 1. 開放病床のご利用と共同診療ができます。
 - 2. 院内研修会・講演会へ参加することができます。過去の勉強会の動画をご覧いただけます。
 - 3. 当センターの図書室が利用でき、資料の閲覧や視聴ができます。
 - 4. 当センターの各種情報を随時提供いたします。
 - 5. ホームページより登録医紹介ページへ移動できます。

ぜひ、登録医へのご登録をお願いいたします。

お問い合わせ・お申し込みは、地域医療連携室まで。ご連絡をお待ちしております。

開放病床のご利用

- 当センターでは、ご紹介いただきました患者さんに入院が必要な場合、開放病床のご利用ができます。
- 紹介医と当センターが共同して、より適切な医療を提供し、退院後に引き続き紹介診療所において治療をお願いするものです。事前に「登録医」として登録をお願いしております。ご利用及び登録医申請の方法につきましては、地域医療連携室までお問い合わせください。

【開放病床】5床

【対象診療科】病床をもつ全診療科

【入院期間】3週間（21日）以内を原則としています

【診療報酬】開放型病院共同指導料（あらかじめ患者さんへの説明をお願いします）

登録医（開放型病院共同指導料Ⅰ）

診察時（1日1回限り）350点

病院（開放型病院共同指導料Ⅱ）

診察時（1日1回限り）220点

はびきのメディカルネット

- 当センターでは、地域医療情報連携システムを導入しております。当センターへの紹介患者さんについて、患者さんの同意があれば、当センターでの診療情報（検査・処方・画像など）を、インターネット回線を利用して、閲覧していただくことができるものです。
 - ご紹介患者さんの治療経過を容易に把握し、当センターからの逆紹介時にも切れ目なく医療を提供することができ、病診連携の一層の向上に資するものと考えております。
- ※ご登録にあたり説明及び資料送付等をご希望される場合、地域医療連携室までお問い合わせください。

入退院支援

- 患者総合支援センターでは、入退院支援室の専門の看護師や医療ソーシャルワーカー（MSW）が入院前支援・退院支援・医療福祉相談を行っております。患者さん・ご家族が安心して入院治療が受けられ、安心して希望される場所へ退院していただけるよう支援を行っています。
- 患者さんの入院が決まりましたら、入院前支援外来で看護師らが自宅での生活状況や今後の生活に対する不安などを情報収集し、病棟看護師や退院支援看護師・MSWへとケアの継続を図ります。また患者さんの状況に応じて多職種で共同して退院支援を行っています。
- 在宅に帰られる患者さんには、必要に応じてかかりつけ医・ケアマネジャー・訪問看護ステーションとの連携を行い、合同カンファレンスも積極的に行っています。
- 常に患者さんを中心に据え、入院前から退院まで切れ目のない連携と支援の充実を目指しています。

オンライン予約システム「C@RNA Connect」

- 当センターでは、オンライン予約システムを導入しております。外来診療については全診療科、検査についてはCT単純撮影で予約対応しております。詳細は11ページをご覧ください。

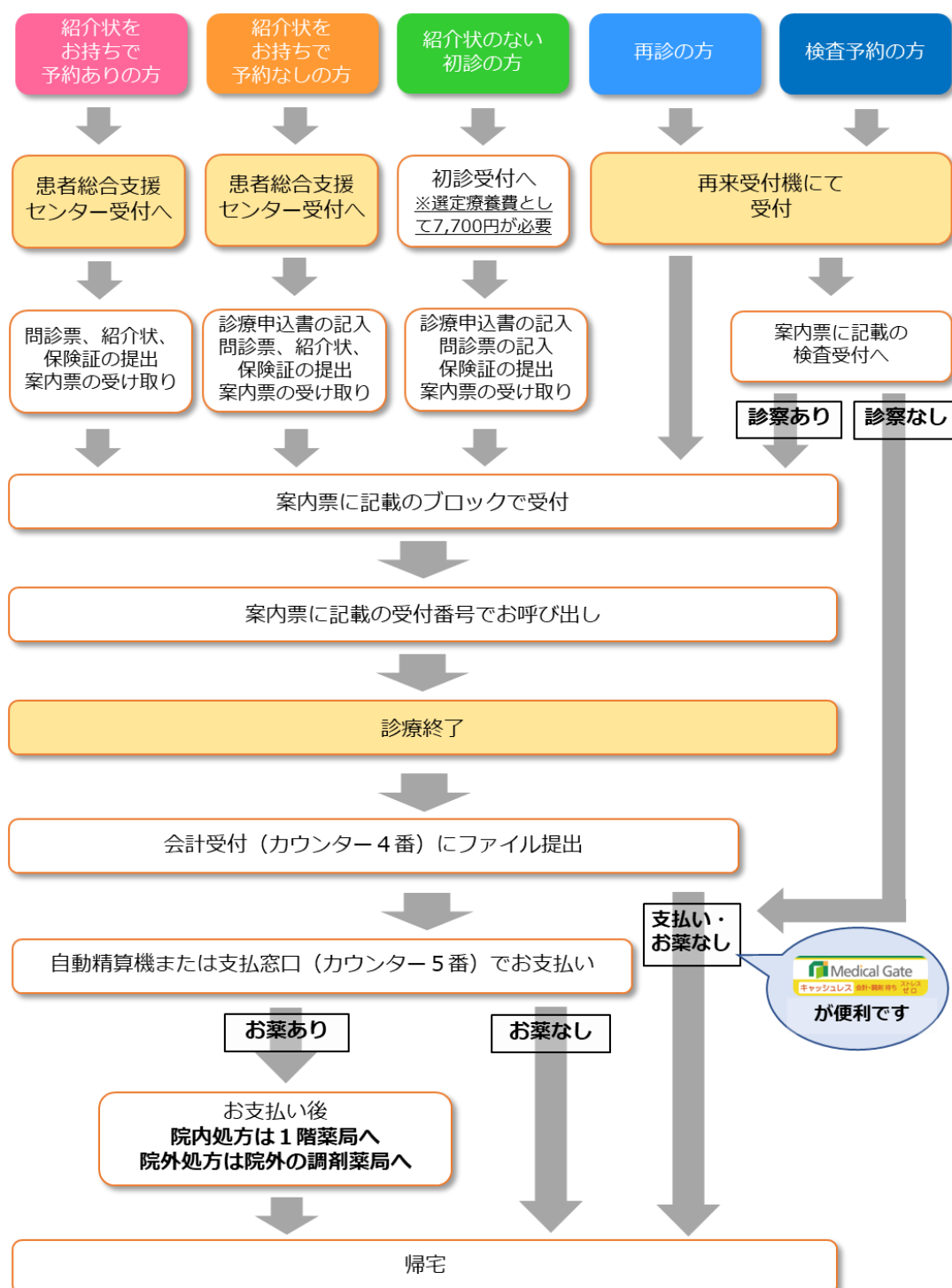
外来診療のご案内

初診受付・予約外の再診：平日午前8時45分～午前11時（月曜日～金曜日）
★紹介状をお持ちの方は、患者総合支援センターで対応いたします

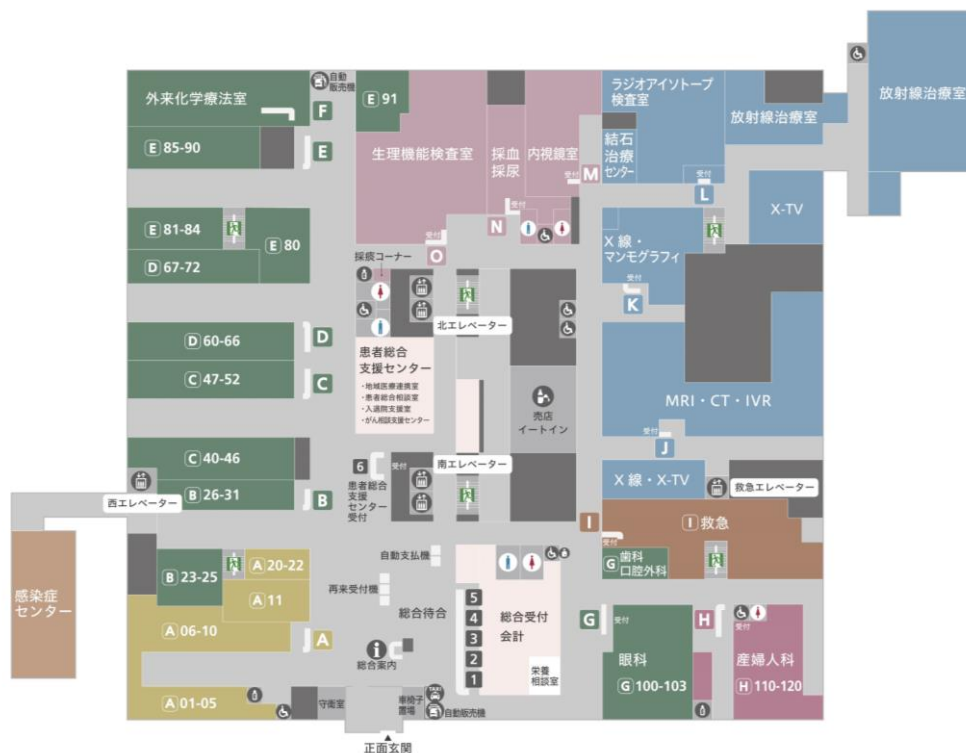
再来受付：平日午前8時15分～予約時間まで

休診日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

外来受付・受診の流れ



2F・外来エリアのご案内



オンライン予約システム「C@RNA Connect」

当センターでは、オンライン予約システムを導入しております。外来診療については全診療科、検査についてはCT単純撮影で予約対応しております。

地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター

依頼先施設選択: 地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪はびきの 検索

予約カレンダー

予約キャンセルや日時変更の場合は地域医療連携までご連絡ください。 緊急受診が必要な場合や、どの科を予約したい (病室)をお知らせ

川島 佳代子 (最終:2022/03/02へ) 花田 有紀子 (最終:2022/02/28へ) 奥野 未佳 (最終:2022/03/04へ) 河辺 隆誠 (最終:2022/02/28へ) 中谷 彩香 (最終:2022/03/01へ)

小幡 翔 (最終:2022/03/11へ)

川島 佳代子の予約カレンダー

2022/03/15 - 2022/03/21

患者名 非表示 ごみ箱 枠の色の説明

	03/15(火)	03/16(水)	03/17(木)	03/18(金)	03/19(土)	03/20(日)	03/21(月)
09:00		予約					
09:30							
10:00		予約					
10:30							

- ・予約申し込みインターネットを利用します。
- ・24時間365日、いつでも簡単に予約ができます。
- ・診療所様は無料でご利用いただけます。
- ・予約カレンダーで「空き状況」が一目でわかります。
- ・患者さんをお待たせすることなく、予約票のお渡しまでができます。



詳しくは当センター
ホームページへ

外来診察担当医師表



最新月は当センター
ホームページへ

2023年6月分

		診察室No.	月曜日	診察室No.	火曜日	診察室No.	水曜日	診察室No.	木曜日	診察室No.	金曜日
呼吸器内科	午前	67	担当医	67	柳瀬	67	担当医	67	森泉	67	※田村香
		68	森下裕	68	細野	68	馬越	68	※田村香	68	枝廣
		69	※田村香（初）	69	田邊	69	細野(初)	69	馬越（初）	69	森下裕（初）
	午後	67	担当医	67	柳瀬	67	担当医	67	—	67	※田村香
		68	森下裕	68	細野	68	馬越	68	※田村香		—
		69	※田村香	69	田邊	69	細野	69	馬越	69	森下裕
備考欄	呼吸器内科は、完全予約制です。かかりつけ医から事前の診察予約をお取りください。										
感染症内科	午前	感染症センター	仮屋（初）	感染症センター	永井崇（初）	感染症センター	韓※（初）	感染症センター	新井(初)	感染症センター	田村嘉（初）
		午後	仮屋	感染症センター	永井崇	感染症センター	韓※	感染症センター	—	感染症センター	田村嘉
	午後		—		—	46	田村嘉	46	田村嘉		—
		46	永井崇	46	韓※	45	橋本	45	前田	46	永井崇
	午後	45	新井	45	新井	46	田村嘉	46	田村嘉		—
		46	永井崇	46	韓※	45	橋本	45	仮屋	46	永井崇
備考欄	初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。										
リウマチ内科	午前	84	松野	84	森田（初）	84	原（初）	84	松野（初）	84	松野（初）
		83	緒方	83	石田	83	松野	83	石田	83	※久保田
			—		—	82	緒方		—		—
	午後	84	松野		—		—	84	—	84	松野（初）
		83	緒方	83	石田	83	松野	83	石田	83	※久保田
			—		—	82	緒方		—		—
備考欄	初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。 森田医師の診察時間は、9:30～12:00となります。（受付は通常通り8：45～11：00可能です。） 原医師の診察時間は、9:00～11:00となります。										
整形外科	午前	61	塚本	61	谷内	61	森口	61	塚本	61	谷内
		62	谷内（初）		—	62	—	62	—	62	塚本（初）
	午後	61	担当医	61	担当医	61	担当医	61	担当医	61	担当医
		62	担当医		—	60	—	62	担当医	62	担当医
備考欄											
肺腫瘍内科	午前		—		—	90	鈴木（初）	90	小牟田（初）	90	※森下直（初）
		89	鈴木	89	刀祢	89	※森下直	89	鈴木	89	岡田
		88	横山	88	山内		—		—	88	佐藤
	午後		—		—	90	鈴木	90	—	90	※森下直
		89	鈴木	89	—	89	※森下直	89	鈴木	89	—
			—		—		—		—	88	佐藤
備考欄	肺腫瘍内科は、完全予約制です。かかりつけ医から事前の診察予約をお取りください。 第1金曜日の1診は午前のみとなります。										
腎臓内科	午前	87	上床	87	飯尾	87	飯尾	87	上床	87	担当医
	午後	87	上床	87	飯尾	87	飯尾	87	上床	87	担当医
備考欄											
循環器内科	午前	85	江角（初）	85	江角（初）	85	三好	85	原田(光)（初）	85	江角（初）
		86	原田(博)	86	原田(光)（初）	86	井内	86	原田(博)	86	井内
	午後	86	原田(博)	86	原田(光)	86	井内	86	原田(博)	86	井内
備考欄	ペースメーカー外来は、第2・第4木曜日の月2回です。 金曜日2診は不整脈外来です。										
消化器内科	午前	65	山本	64	※今村(初)	66	佐々木(初)	65	松前	66	福本(初)
		66	前山(初)		—		—	66	前山(初)		—
	午後	65	検査	64	検査	66	検査	65	検査	66	検査
備考欄											
頭耳鼻咽喉科	午前	21	※花田（初）	21	小幡（初）	21	※川島（初）	21	河辺（初）	21	梅田（初）
		22	※永井	22	河辺	22	※永井	22	※花田	22	※川島
		9	※川島		—	9	河辺	9	—		—
	午後	22	※永井（検査）		—	9	河辺（検査）	22	※花田（検査）		—
備考欄	初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。										
眼科	午前	101	—	101	—	101	検査	101	—	101	—
		102	鈴江（初）	102	井上（達）（初）	102		井上(亮)（初）	102	塩崎（初）	
備考欄	初診/再診の受付時間は9：00～10：30までとなります。										

ご案内 初診／予約なしの方は、受付時間 8:45～11:00 までとなっております。

地域の医療機関から当センターの地域連携室を通して予約頂きますと待ち時間が短縮できます。
 (初)…初めて受診の方のみ (予)…予約診療の方のみ ※…女性医師

2023年6月分

		診察室No.	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日					
呼吸器外科	午前		47	小林		47	47					
			48	北原（初）		48	48					
			66	担当医								
	午後		47	小林		47	47					
			48	北原		48	48					
			66	担当医								
備考欄		月～木曜日まで手術日です。										
消化器外科	午前	47	宮崎（初）		47	松浦（初）		64	酒田（初）			
		48	池田（初）		48	酒田						
	午後	47	宮崎					64	酒田			
		48	※西（初）		48	宮崎						
備考欄												
乳腺外科	午前	50	安積	50	安積(予)	50	安積	50	(担当医)（初）	50	担当医	
		51	新崎（初）		51	(担当医)（初）						
	午後	50	安積	50	安積(予)	50	安積	51		50	担当医	
		51	新崎		51	(担当医)			51	安積（予）		
備考欄												
皮膚科	午前	29	※片岡（予）	28	担当制	29	※片岡（予）	29	完全予約制	29	※坂本幸（予）	
		28	※坂本（理）	27	※坂本（幸）（予）	28	※長塚	28		28	※木村	
		30	※木村（初）	30	※片岡（初）	30	※坂本（理）（初）	30		30	※長塚（初）	
			29	担当医（予）	29	※坂本（幸）（予）	27	27		担当医（予）		
	午後	29	※片岡（予）	28	担当医（予）	29	※片岡（予）	29	完全予約制	29	担当医（予）	
		28	※長塚	27	※木村（予）	28	※藤田（予）	28		28	※木村	
		30	※木村（初）	30	※片岡	30	※坂本（理）（初）	30		30	※長塚（初）	
		27	※坂本（幸）（予）	29	※担当医（予診）	27	※木村	27			－	
		初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。										
		(0歳児のアトピー・性皮膚炎の患者様に限り、紹介状がなくても診察を受け付けています。)										
備考欄		火曜日4診（予診）では、初診の間診を行っています。 木曜日は完全予約制です。										
小児科	午前	3	※高岡	3	深澤	3	亀田	3	亀田	3	吉田	
		4	釣永	4	※九門	4	重川	4	吉田	4	深澤	
		5	担当医（初）	5	亀田（初）（予診：担当医）	5	担当医（初）	5	担当医（初）	5	担当医（初）	
			－		－		－		－		－	
	午後		－		－		乳児健診室	※高岡（第2・4）			－	
		3	※高岡	3	－	3	亀田	3	亀田	3	吉田	
		4	釣永	4	－	4	重川	4	深澤	4	※高岡	
		5	※上野	5	－	5	山手	5	※梅田	5	担当医	
		7	中竹	7	－	7	小児循環器/※高岡	7	山口	7	山口	
		3診午前担当医：（月）第1・5 吉田医師（火）第1・3・5 中原医師（水）第1・3・5 釣永医師（木）第1・3・5 深澤医師（金）第1・5 高岡医師 第2・4 中竹医師 第2・4 梅田医師 第2・4 山手医師 第2・4 山口医師 第2・4 九門医師 第3 上野医師 第3 上野医師 4診午後担当医：（水）第1・3・5 小児循環器外来です。（担当医制）（金）第1・3・5 上野医師 第2・4 高岡医師 第2・4 九門医師										
産婦人科	午前	113	※中谷	113	脇	113	※穂西	113	西川	113	中野（初）	
		116	赤田（初）	116	赤田	116	赤田（初）	116	赤田（初）婦人科	116	赤田	
		118	※長安	118	安川（初）	118	※岩井	118	安川（初）産科	118	安川	
			－		－		－		－		－	
	午後	113	坂元		－	113	※穂西		－		113	中野
		116	赤田（婦人科）		－		－		－		116	坂元
		118	安川	118	安川	118	※長安		－		118	梅原
備考欄												
泌尿器科	午前	40	福井（初）	40	栗林（初）	40	山口（初）	40	大草（初）	40	松村（初）	
備考欄												
歯科 口腔外科	午前	130	※助臺	130	※助臺	130	※助臺	130	※助臺	130	※助臺	
備考欄		初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。										
糖尿病・ 内分泌内科	午前	63	櫻根	63	豊田	63	櫻根	63	櫻根	63	豊田	
備考欄												
心臓血管 外科	午前		49	川平		49	川平					
備考欄												
フォロー アップ外来	午前	64	松山									
備考欄												

2023年6月1日 現在

診療科一覧

専門医療部門

診療科	診療内容
呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患やびまん性肺疾患、急性～慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群など幅広い呼吸器疾患の診療を行っています。
肺腫瘍内科	肺がんの早期診断から内科的治療、緩和医療に至るまで一貫した診療を行っています。
感染症内科	結核や非結核性抗酸菌症などの感染症を専門としています。
アレルギー・リウマチ内科	気管支喘息などのアレルギー疾患、リウマチ・膠原病などの自己免疫疾患の診療を行っています。
循環器内科	心血管疾患の専門性の高い侵襲的治療、一般循環器疾患にも幅広く対応しています。
消化器内科	消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患全般にわたる診療を行っています。
糖尿病・内分泌内科	糖尿病、脂質異常症、肥満症などの代謝疾患とともに甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患の診療治療を行っています。
腎臓内科	早期の腎炎に対する治療から、慢性腎臓病に対する腎代替療法まで、幅広い腎疾患を治療します。
呼吸器外科	肺がん、中皮腫から気胸まで胸部疾患手術を実施しています。
消化器外科	胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を行っています。
心臓血管外科	心臓、大血管、末梢血管に対する外科治療を行っています。
乳腺外科	乳がんの標準治療（外科治療、薬物療法、放射線治療）、乳がん再発治療を行っています。
産婦人科	産科から婦人科悪性腫瘍まであらゆる産婦人科疾患を対象としています。
小児科	小児のアレルギー疾患、呼吸器疾患などを専門とし、一般小児疾患にも広く対応しています。
皮膚科	アレルギー性皮膚疾患、アレルギー以外の皮膚疾患ともに、重症・難治性皮膚疾患の専門医療を行っています。
耳鼻咽喉・頭頸部外科	アレルギー、鼻副鼻腔疾患の専門的診療と耳鼻咽喉・頭頸部外科領域全般の診療を行っています。
泌尿器科	泌尿器科領域の悪性疾患や排尿障害、尿路結石など、あらゆる疾患に対応しています。
整形外科	変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療を行っています。
眼科	現在非常勤医のみで、白内障、緑内障等の眼科一般診療を実施しています。
歯科口腔外科	口腔外科疾患に対応し、周術期等口腔機能管理、口腔ケアを実施しています。

中央部門

診療科	診療内容
麻酔科	各種呼吸器疾患合併患者をはじめ、重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応します。
集中治療科	急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を行っています。
救急診療科	呼吸器疾患をはじめ急性腹症、循環器疾患、一般外傷など幅広い救急初期診療を提供しています。
画像診断科・放射線治療科	CT、MRIや核医学などの画像診断、IVR（画像ガイド下の治療）および放射線治療を行っています。
臨床検査科	各種検査を行い、迅速に正確な検査結果を報告し、的確な診断・治療を支えています
リハビリテーション科	急性期から慢性安定期のリハビリテーションを実施しています。
緩和ケア科	がん患者のさまざまな症状（疼痛、呼吸困難、せん妄などの精神症状など）のマネージメント、家族へのケアをサポートしています。
外来化学療法科	外来で抗がん剤治療を行い、日常生活との両立をめざしています。
病理診断科	病理・細胞診断を迅速かつ正確に行っています。

研究部門等

診療科	診療内容
臨床研究センター	新しい診断治療法の研究・開発により、医学と医療の発展へ貢献します。
次世代創薬創生センター	産業連携や公衆衛生上の危機に即応した研究を行います。
教育研修センター	初期研修医や専攻医への教育研修ならびに地域の医療機関の先生方に対する各種啓発活動を行っています。

医療機能指定 学会施設認定 等

●医療機能指定

地域医療支援病院／大阪府がん診療拠点病院（肺がん）／大阪府アレルギー疾患医療拠点病院／第二種感染症指定医療機関
結核指定医療機関／難治性多剤耐性結核の広域拠点病院／感染症法に基づく入院勧告患者の受入病院／エイズ治療拠点病院
二次救急告示医療機関／大阪府小児地域医療センター／特定診療災害医療センター／大阪府肝炎専門医療機関／協力型臨床
研修病院／労災保険指定医療機関／日本医療機能評価機構認定病院

●学会施設認定等

WAO center of excellence／日本内科学会認定医制度教育関連病院／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本呼吸器
学会内科外科系指導施設／日本呼吸器学会認定施設／日本臨床腫瘍学会認定施設（特別連携施設）／日本がん治療認定医
機構認定研修施設／日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設／日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設／日本アレルギー
学会アレルギー専門医教育研修施設／日本リウマチ学会教育施設／日本皮膚科学会認定専門医研修施設／日本小児科学会専
門医研修施設／日本眼科学会専門医制度研修施設／日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医研修施設／日本鼻科学会鼻科手術
認可研修施設／日本気管食道科学会認定専門医研修施設（咽喉系）／日本感染症学会認定研修施設／日本循環器学会認定専
門医研修関連施設／日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設／日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設（腹腔鏡）／
日本消化器外科学会修練関連施設／日本肝臓学会認定施設（特別連携施設）／日本乳癌学会認定施設／日本乳房オンコプラ
スティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、インプラント実施施設／日本医学放射線学会放射線科専門医修練機
関／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／日本病理学会登録施設／日本臨床細胞学会教育研修施設／日本医療薬学会がん専門薬
剤師研修施設／日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設／日本緩和医療学会緩和医療専門薬剤師研修施設／薬学生実
務実習受入施設／認定臨床微生物検査技師研修施設／日本超音波医学会認定超音波専門医研修連携施設／日本呼吸療法医学
会認定呼吸療法専門医研修施設／日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設／日本医療薬学会薬物療法専門薬
剤師制度薬物療法専門薬剤師研修施設（基幹施設）

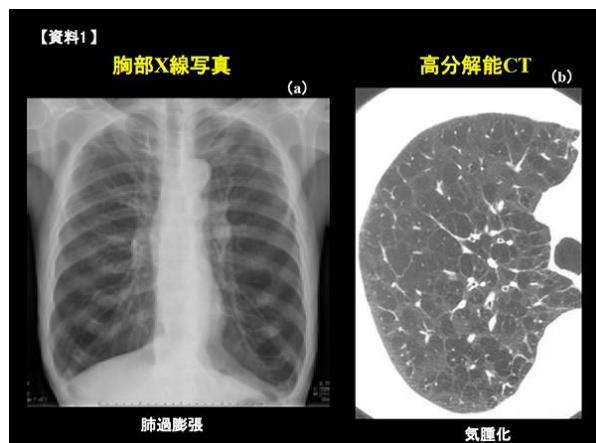
呼吸器内科



慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎を中心とした呼吸器疾患の治療

診療の特色

- 慢性閉塞性肺疾患(COPD：肺気腫・慢性気管支炎など)、特発性間質性肺炎、膠原病肺疾患、過敏性肺炎をはじめとするびまん性肺疾患、呼吸器感染症(細菌性肺炎、肺真菌症、抗酸菌感染症など)、睡眠時無呼吸症候群など、急性から慢性の様々な呼吸器疾患に対して、最新の知見とガイドラインに基づく診断と治療を行っています。さらにそれらの疾患に対し、必要時には集中治療科(ICU・HCU)で集中治療を行ったり、呼吸リハビリテーションを実施するなど、包括的、全人的呼吸ケアの実践をしています。
- 在宅酸素療法、非侵襲的陽圧換気療法、CPAP療法を行っている多くの患者さんの診断・治療を行っています。
- 外来においては呼吸器看護専門外来を併設し、専門性の高い看護師によるセルフマネジメント支援や地域の医療従事者との連携による患者さんのQOL向上をめざしています。
- COPD教育入院(2泊3日)、酸素流量調整入院(1週間)、CPAP導入入院(2泊3日)を行っています。地域医療連携室で予約を賜っております。
- 身体障害者福祉法に基づく呼吸機能障害や、難病法に基づく特定疾患(呼吸器疾患)の申請を行っています。



主要検査

- ・高分解能CT検査
- ・精密呼吸機能検査
- ・呼吸器内視鏡検査(気管支鏡検査)
- ・睡眠時呼吸障害検査(終夜睡眠ポリグラフィー)

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：960名)

間質性肺炎：176人／肺炎、肺化膿症：218人／慢性閉塞性肺疾患(COPD)：59人
睡眠時無呼吸症候群：52人／肺がん：31人／気管支喘息、気管支拡張症：9人
結核、肺非結核性抗酸菌症：15人／気胸：21人／コロナウイルス感染症：204名

在宅酸素療法：232名／在宅人工呼吸療法：25名／CPAP：89名

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
森下 裕	もりした ひろし	主任部長 呼吸ケアセンター長 副気胸センター長	日本内科学会認定医・指導医、日本呼吸器学会専門医 日本医師会認定産業医、身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害) 大阪府難病指定医、がんリハビリテーション研修修了
田村 香菜子	たむら かなこ	副部長	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医
馬越 泰生	うまごし たいせい	医長	日本内科学会総合内科専門医
細野 裕貴	ほその ゆうき	診療主任	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医
小牟田 清英	こむた きよひで	医員	緩和ケア研修修了、ICLS講習修了
山内 桂二郎	やまうち けいじろう	医員	緩和ケア研修修了、ICLS講習修了
横山 将史	よこやま まさし	医員	緩和ケア研修修了、ICLS講習修了
田邊 英高	たなべ ひでたか	医員	緩和ケア研修修了、臨床呼吸機能基礎コース講習修了、ICLS講習修了

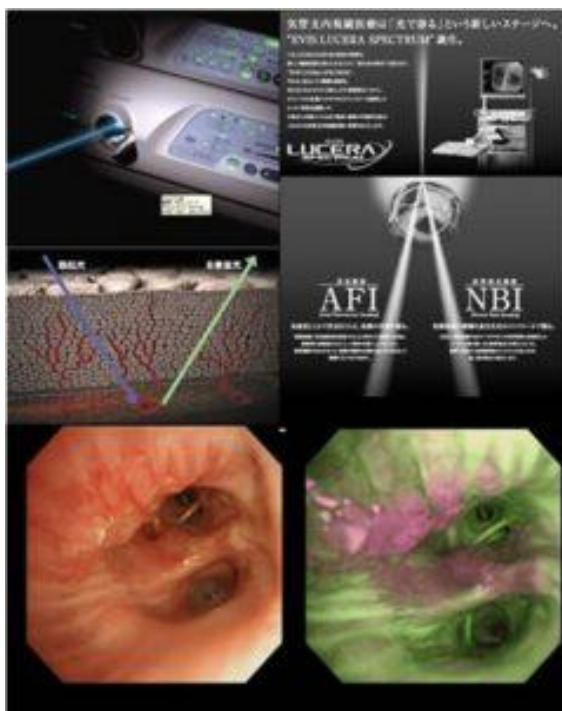
肺腫瘍内科



肺がんの早期診断と最新の抗がん化学療法を実施

診療の特色

- 肺がん、悪性胸膜中皮腫などの胸部悪性腫瘍を中心に診断、治療、緩和ケアまで一貫して実施。
- 外来化学療法科と連携して、外来での抗がん剤治療を実施。
- 専門性の高い看護師、薬剤師等とのチーム医療でがんに伴う種々の症状緩和など、高いQOLの維持をめざす。
- 地域の在宅往診可能な医師と連携して、緩和ケアがシームレスで行われるよう取り組みを推進。



蛍光気管支鏡による細胞診



気管支腔内超音波断層法(EBUS)

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：665名)

肺がん：527人／その他悪性腫瘍：24人 他

外来化学療法件数

令和元年度 1,988件／令和2年度 1,944件／令和3年度 1,723件／令和4年度1,722件

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
鈴木 秀和	すずき ひでかず	主任部長 腫瘍センター長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本がん治療認定医機構認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医、緩和ケア研修修了
森下 直子	もりした なおこ	副部長	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、緩和ケア研修修了
佐藤 真吾	さとう しんご	診療主任	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医
柳瀬 隆文	やなせ たかふみ	診療主任	緩和ケア研修修了
岡田 英泰	おかだ ひでやす	診療主任	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、緩和ケア研修修了

感染症内科



結核は過去の病気ではありません

診療の特色

- 主な対象疾患 … 結核、非結核性抗酸菌症（非定型抗酸菌症）ならびに結核後遺症としてよく見られる肺アスペルギルス症等。
- 入院患者全員を対象に看護師による対面服薬確認ならびに結核に関する勉強会（院内DOTS）を実施。
- 通院可能となった患者は、院内DOTSカンファレンスで治療終了時期を決定し、保健所と協力して退院後の服薬支援を実施。
- 院内DOTS並びに院内DOTSカンファレンスへは、全国の保健所や病院から見学に来られる等、当センターの結核治療向上への取組は高く評価されています。
- 感染症内科外来は、一般外来とは別棟の「感染症センター」で診療を実施。
- 結核疑い患者は、診断が確定するまでは陰圧換気個室に入院。
- 感染症内科外来ならびに感染症病棟には高換気機器や空気殺菌器を設置し、感染症内科外来に排菌患者専用の待合室を設ける等、院内感染防止対策を徹底。

結核菌検査

核酸増幅法検査、液体培地法、迅速薬剤感受性試験法など最新の結核菌検査方法を導入し、喀痰塗抹陽性の90%以上は30日以内に結核菌の検出・同定並びに薬剤感受性試験成績の報告が可能。塗抹陽性検体に関しては、治療方針の根幹に関わるRFP（リファンビシン）の耐性遺伝子変異を迅速にチェックしています。

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：578人)

肺結核、結核性胸膜炎など：182人／コロナウイルス感染症：168人
肺非結核性抗酸菌症：44人／肺アスペルギルス症：16人 他

地域への啓発活動

- 【DOTSカンファレンス】保健所スタッフ、MSWも参加し、対面服薬確認治療について会議を行っています。
- 【結核勉強会】退院後の生活を見据えて指導を行っています。



その他

- すぐに入院が必要な患者さんについては、感染症外来へ直接ご連絡ください。
- 排菌している（疑いのある）患者さんには、来院時マスクの着用のご指導をお願いします。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
永井 崇之 ながい たかゆき	主任部長	日本感染症学会推薦 ICD
韓 由紀 はん ゆき	副部長	日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医
新井 剛 あらい つよし	診療主任	日本内科学会認定医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医・認定医・推薦 ICD、日本エイズ学会認定医
仮屋 勇希 かりや ゆうき	医員	
橋本 章司 はしもと しょうじ	臨床研究センター長	日本感染症学会推薦ICD、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本感染症学会専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医、日本臨床研修協議会プログラム責任者、日本医師会認定産業医
田村 嘉孝 たむら よしたか	臨床検査科主任部長 感染症センター長	日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医
前田 恭兵 まえだ きょうへい	レジデント	

アレルギー・リウマチ内科



気管支喘息や関節リウマチなどの免疫関連疾患の最先端医療

診療の特色

- 喘息を中心としたアレルギー疾患(アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症など)の内科的な診療を行うとともに、関節リウマチの診療に注力しています。
最近10年間で、これらの疾患の治療は大きく変化して、対症療法から、炎症を制御する本質的な治療に変化しました。
特に抗体製剤などの分子標的薬は、ステロイドのように広範囲に作用する薬剤と異なって、疾患の原因因子を標的として特異的に作用することで、副作用の少ない有効な薬剤であることが期待されます。
この大きな流れに沿って、最先端の知識や技術を取り入れて、適切に治療を実施しています。
- 吸入指導と薬の管理を看護師、薬剤師と連携して行っています。
- 令和3年度から、新たに2名のリウマチ学会専門医が赴任しました。

※化学物質過敏症には対応していません。

※当科で診療をご希望の方は、紹介状が必要になりますのでご注意ください。

主な設備

- 胸部レントゲン検査、胸部CT検査、気管支鏡検査
- 精密肺機能検査、モストグラフを用いた気道抵抗の測定
- 各種アレルギー検査、各種カビ抗体の測定、呼気NOの測定、プリックテスト(皮ふテスト)

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：223人)

コロナウイルス感染症：67人／気管支喘息、咳喘息：26人
関節リウマチ、膠原病：23人／アナフィラキシーショック：6人 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
松野 治	まつの おさむ	主任部長	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医
石田 裕	いしだ ゆたか	診療主任	日本内科学会認定医、日本リウマチ学会専門医、緩和ケア研修修了
緒方 篤	おがた あつし	副院長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本リウマチ学会専門医・指導医、大阪市難病指定医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、日本医師会認定産業医、緩和ケア研修修了、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了

アズマネットワーク

〈Habikino Asthma Network〉

近隣の先生や患者さんを紹介させていただいた先生を対象に行っている喘息の勉強会です。年1回行っています。多くの先生方と共に喘息の勉強をすることで、喘息診療のレベルアップを目指しています。

〈大阪アズマネットワーク〉

薬剤師を対象とした吸入指導法の勉強会です。近隣の薬剤師会の協力を得て、年2回行っています。喘息治療で最も大切な吸入ステロイドを患者さんが正しく使えるようにするために支援しています。吸入指導法だけでなく、喘息やCOPDなどの病気についても勉強しています。最近は「大阪吸入指導マイスター制度」を立ち上げて、一定基準のレベルに達した薬剤師をマイスターとして認定して当科の外来で案内しています。



循環器内科



心血管疾患の専門性の高い侵襲的治療、一般循環器疾患にも幅広く対応

診療の特色

心血管疾患の病態解明に基づいた最適な治療方法を選択し、かつ患者さんひとりひとりに対してのきめ細やかな診療を心がけています。

1. 侵襲的治療：

- 虚血性心疾患のカテーテル治療
- 不整脈のアブレーション治療やペースメーカー治療
- 末梢動脈疾患のカテーテル治療

2. 集学的治療：

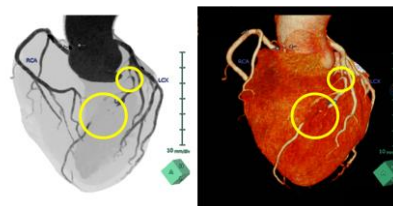
- 心不全の個別化治療
- 心臓リハビリテーション
- 急性心臓疾患の集中治療

3. 一般診療：

- 循環器系の生活習慣病管理・指導

※集中治療室と近接した手術室エリア内に心臓カテーテル専用室を新設。

※非侵襲検査を充実、特に冠動脈CTは被ばく低減と診断精度の飛躍的向上を達成したシーメンス社最上位機種SOMATOM Driveを導入。



主要検査

心臓超音波検査、頸部動脈・末梢血管（動脈・静脈）超音波検査、血圧脈波検査、12誘導心電図、各種負荷心電図検査、ホルター心電図、心肺運動負荷呼吸ガス分析(CPX)、冠動脈CT検査、心臓アイソトープ検査、心臓カテーテル検査、各種血管造影検査、観血的電気生理学的検査、心臓MRI検査 など

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：251人)

● 疾患別

心不全：94例／狭心症：33例／不整脈：23例／心筋梗塞、心筋症：4例
肺動脈血栓症、静脈血栓症：4例／肺高血圧：2例

● 検査と治療

心臓エコー検査：2,721件／経食道心エコー：10件／末梢血管エコー検査：652件
冠動脈CT検査：62件／心臓カテーテル検査：68件／PCI：17件／アブレーション：5件
ペースメーカー新規埋込み術：11件／下大静脈フィルター留置術：1件

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
原田 光一郎 はらだ こういちろう 主任部長		日本内科学会認定医・総合内科専門医・臨床内科指導医、日本循環器学会専門医、Fellow of Japanese Circulation Society、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本脈管学会専門医、日本循環器学会ITC-AHA ACLSインストラクター及びコースディレクター、日本救急医学会 ICLSインストラクター、日本内科学会JMECCインストラクター、日本静脈学会弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター、日本医師会認定産業医、身体障害者福祉法指定医（心臓機能障害）、大阪府難病指定医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了、心不全緩和ケアトレーニングコース（HEPT）修了
江角 章 えづみ あきら 教育研修センター長 部長		日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了、厚生労働省指定オンライン診療研修修了、長時間労働医師へ面接指導の実施にかかる研修修了、心不全緩和ケアトレーニングコース（HEPT）修了
原田 博 はらだ ひろし 副部長		緩和ケア研修修了
井内 敦彦 いうち あつひこ 副部長		日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了

消化器内科



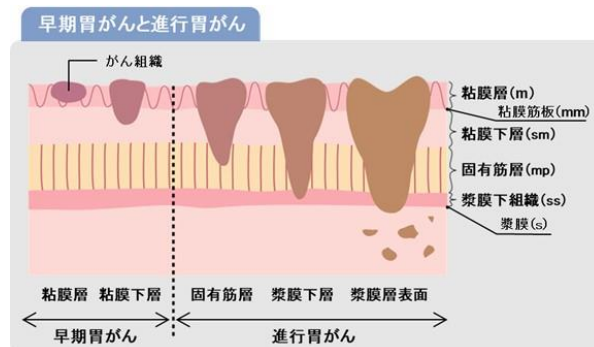
消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患にわたる診療

診療の特色

- 主に消化管疾患に対する内視鏡検査、内視鏡治療、薬物治療を行っています。具体的には、消化管（食道・胃・大腸）がんの早期診断のためのスクリーニング検査から早期がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）治療までを一連の流れとして当院で行っています。
- 検査時の嘔吐反射や疼痛が不安で検査に踏み切れない方にも消化管がんの早期発見、早期治療が介入できるよう、患者様のご希望があれば鎮静・鎮痛下での上下部消化管内視鏡検査を施行するようにしています。
- 進行がんに対しては、外科と定期的なカンファレンスを行い、外科とも緊密に連携して治療にあたっています。
- 胆道・脾臓疾患（総胆管結石、閉塞性黄疸等）に対しては、積極的な内視鏡インターベンション治療（乳頭切開術、各種ステント挿入など）が行えるような体制を早急に整えています。
- さらに、近年増加している潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患に対しても、5-ASAなどの基本治療に加え、免疫調節剤やレミケード・ヒュミラなど生物学的製剤を用いた治療にも取り組んでいます。

主要検査と治療

- 当院の内視鏡チームは、内科・外科など各科外来と連携し、さまざまな病気に対する検査や治療を行っています。
 - ・ 上部消化管内視鏡検査
 - ・ 下部消化管内視鏡検査
- ポリペクトミー・EMR（内視鏡的粘膜切除術）
- ESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
- 止血術
- 胃ろう造設術



主な診療実績(令和4年度 退院患者数：97人)

大腸ポリープ：40人／胃がん：2人／大腸がん：1人
胆管結石・胆管炎：7人／その他消化器疾患：38人 他

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
前山 晋吾	まへやま しんご	部長
日本内科学会認定医・指導医・総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・上部消化管内視鏡スクリーニング認定医・大腸内視鏡スクリーニング認定医、日本肝臓学会専門医・暫定指導医、日本医師会認定産業医、大阪府難病指定医、嚥下機能研修修了		

糖尿病・内分泌内科



代謝疾患と内分泌疾患の診療治療

診療の特色

- 糖尿病・内分泌内科は令和5年4月1日より当院に新設された診療科です。
- 当科では糖尿病、脂質異常症、肥満症などの代謝疾患とともに甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患の診療治療を行います。
- 糖尿病の病態評価(病因、合併症)、知識習得および治療方針の決定のために、7-14日の入院をお勧めしています。医師、看護師、栄養士、薬剤師などの専門職スタッフが各職種の特徴を生かしてサポートさせていただきます。
- 内分泌疾患では各種血液検査、尿検査、画像検査にて診断を行い、治療方針を決定いたします。必要に応じ入院して、各種負荷試験を行います。

主要検査

- 血液検査：血糖値、HbA1c(ヘモグロビンA1c)、血中Cペプチド、尿中Cペプチド、抗GAD抗体、Cr、eGFR、尿タンパク、尿アルブミンなど
- 画像検査：頸動脈エコー、甲状腺エコー、ABIなど
- 負荷試験：生理食塩水負荷試験、カプトプリル負荷試験、フロセミド立位負荷試験、3者負荷試験(CRH、LHRH、TRH)、迅速ACTH負荷試験、GHRP2負荷試験など

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
樫根 晋	かしね すずむ	主任部長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科指導医・専門医、日本循環器学会専門医、日本糖尿病学会専門医・研修指導医
豊田 新一郎	とよだ しんいちろう	診療主任	日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝(内科)専門医



早期の腎炎に対する治療から、慢性腎臓病に対する腎代替療法まで、幅広い腎疾患を治療します

診療の特色

- 慢性腎臓病 (CKD)の原因には、透析導入の原因疾患として最も多い糖尿病、高齢者に多い腎硬化症、腎炎や遺伝性腎疾患、薬剤による腎障害、悪性腫瘍・膠原病・感染症に関連し二次的に発生した腎障害など、多岐にわたります。
何が原因なのかを可能な限り診断し、特に慢性腎炎や急速進行性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群では必要に応じて腎生検を行い、患者さんにとって最適な治療を行うことを心がけています。
- CKDが早期であれば、原因に対して治癒を目標に治療を行います。
- CKDが進行していれば、24時間蓄尿検査に基づいた適切な食事療法の指導や投薬を行い、患者さんの慢性腎臓病のさらなる進行を抑制します。
- 末期腎不全となれば血液透析・腹膜透析（腎代替療法）の導入を安全にできるようにサポートを行います。当院では腎移植を行っていませんが、希望される場合は、他院と連携し腎移植を進めていきます。
- 指定難病の申請を行っています。
- 合併症のため入院中の透析患者さん（感染症内科入院中の肺結核患者さんを含みます）に対して、入院中の透析治療を行います。

主な入院

- 腎生検入院：3日間
- 内シャント造設・腹膜透析カテーテル留置など透析アクセス作成の入院：3日間
- 透析導入入院：約1～2週間程度
- ネフローゼ症候群や腎炎に対するステロイド・免疫抑制剤を使用する入院
- CKDの合併症に対する治療のための入院
- 電解質異常に対する治療のための入院
- 患者さんの病状によって入院期間は変わることがあります。

主要検査

- 腎生検
- 腎臓超音波検査
- 24時間蓄尿検査

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
飯尾 麗	いいお れい	主任部長	日本腎臓学会専門医・指導医、日本内科学会認定医・指導医・総合内科専門医、日本透析医学会専門医・指導医、腎代替療法専門指導士
上床 隆太	うわとこ りゅうた	医員	日本内科学会専門医、日本腎臓学会専門医

呼吸器外科



肺がん、中皮腫から気胸まで肺と縦隔の手術を実施

診療の特色

- 呼吸器外科および胸部外科指導施設。
- 肺、縦隔の多様な疾患に対して多くの外科治療を実施。胸腔鏡下手術による低侵襲な外科治療を施行（単孔式手術の実施、手術支援ロボット導入への対応）。
- 肺腫瘍内科・放射線治療科と連携し、集学的肺癌治療を実施。
- 低肺機能・合併症併存症例に対する肺機能を温存する外科的治療を実施。
- 感染性肺疾患に対する外科的治療を実施。

肺がん

当院では多く低侵襲な治療として胸腔鏡下手術による治療を実施しています。また近年、画像診断の進歩により早期肺癌の発見例が増えています。当院では詳細な画像診断による詳細な評価をもとに、小径の早期肺癌に対して、根治性を担保した肺機能温存を目的とした縮小手術（区域切除や肺部分切除）を積極的に行っています。また、肺門部肺癌や局所進行癌に対しては、肺腫瘍内科、放射線治療科と連携した抗癌剤治療・放射線治療を組み合わせ治療を行います。進行癌に対しても積極的に外科治療に取り組んでいます。病状にあわせて治療法・術式の個別化を進めています。



縦隔疾患

当院では縦隔腫瘍に対しても低侵襲手術を行っています。胸腺腫に対する胸腔鏡下手術では、CO₂送気を用いた人工気胸下の胸腺摘出術を施行しています。また進行病期例に対しては根治を目的とした集学的治療および開胸手術を行います。

気胸・肺嚢胞

当院では、青年期の男性に多く見られる気胸（原発性気胸）のみでなく、肺気腫や間質性肺炎など中高年に多い呼吸器基礎疾患に由来する気胸（続発性気胸）に対しても積極的に外科治療を行っています。気胸センターを開設し、内科的治療・外科的治療による多様な病状への対応を行っています。

他の疾患

胸腺摘除を要する重症筋無力症に対して、胸腔鏡下の拡大胸腺摘除術を行っています。炎症性肺疾患に対して、内科による病状評価及び治療の上、外科治療を行っています。肺感染症（結核、肺真菌症）や慢性膿胸に対しても肺機能を温存する手術を実施しています。良性肺腫瘍の治療及び肺生検は、主に内視鏡下に行っています。気管・気管支狭窄に対するステント留置術

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：312名)

肺がん：142人／気胸：65人／炎症性肺疾患：34人／縦隔腫瘍：6人 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
門田 嘉久	かどた よしひさ	主任部長 気胸センター長	日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
北原 直人	きたはら なおと	副部長	日本外科学会専門医、日本胸部外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医
谷口 聖治	たにくち せいじ	診療主任	日本外科学会専門医、日本胸部外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医
上山 廉起	うえやま きよき	医員	
小林 周平	こばやし しゅうへい	医員	緩和ケア研修修了

消化器外科



胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を実施

診療の特色

- 消化器癌に対する治療
消化器癌に対する治療は治療ガイドラインに準じて行い、進行度に応じて外科、腫瘍内科、放射線科と連携し内視鏡治療、腹腔鏡下手術、化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を実施。内視鏡外科学会技術認定医も在籍し、患者に侵襲の少ない手術を行うよう取り組み。
- 良性疾患に対する手術
胆嚢結石、ヘルニア、虫垂炎等の良性疾患に対する診療・治療。
- 腹部救急疾患
令和3年度より腹部救急診療を開始。消化器外科、婦人科、泌尿器科疾患等の幅広い救急疾患に対応。
- その他
上・下消化管内視鏡は専門の消化器内科医師による質の高い診療を提供。
- ロボット手術の早期導入を目指しています。

主要検査

- 上部・下部消化管内視鏡検査
- 腹部、体表超音波検査
- 審査腹腔鏡
- 術中大腸内視鏡検査
- 急性胆嚢炎ドレナージ

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：348人)

大腸がん：80人／胃がん：31人／胆管結石・胆管炎：35人／大腸ポリープ：1人／ヘルニア：26人
腸閉塞：11人／消化管穿孔性疾患：10人／虫垂炎：14人 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
宮崎 知	みやざき さとる	主任部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定取得、日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医、臨床研修指導医、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
池田 公正	いけだ きみまさ	部長	日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、日本外科学会認定医・専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、大阪府難病指定医、臨床研修指導医、臨床研究・治験従事者研修修了、医療コンフリクトマネジメント研修修了、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
酒田 和也	さかた かずや	副部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本大腸肛門病学会専門医（外科）、緩和ケア研修修了
西 秀美	にし ひでみ	診療主任	日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構認定医、JATEC・JPTECプロバイダー、マンモグラフィ読影認定、緩和ケア研修修了
松浦 記大	まつうら のりひろ	診療主任	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医

心臓血管外科



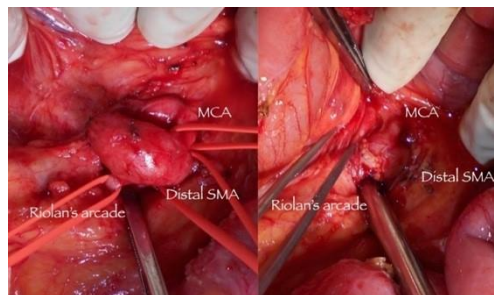
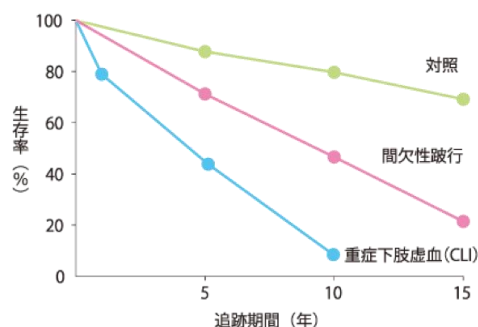
大血管、末梢血管に対する外科治療

診療の特色

- 当科は令和5年に新病院開設に伴い、新設されました。冠動脈疾患や弁膜症などの心臓疾患、大動脈瘤などの大血管疾患、内臓動脈瘤や末梢動静脈疾患、慢性透析患者に対する手術治療を行います。

近隣地域の開業医の先生方へ

- 現在、当センターでは腹部大動脈瘤や末梢動静脈疾患、透析シャント作成に対して準備はできております。循環器内科、腎臓内科と連携し、保存的薬物療法・血管内治療・手術治療などの治療を、患者さんの症状、病態や環境に合わせて適切に選択します。
腹部大動脈瘤：腹部大動脈に動脈瘤が破裂すると命に関わります。人工血管置換術などの手術が必要となります。
閉塞性動脈硬化症：下肢動脈の動脈硬化による狭窄、閉塞が生じると、歩行時の下肢痛（跛行）、安静時痛、潰瘍形成などが生じます。大腿動脈の内膜剥離術やバイパス術が下肢虚血を改善するために必要となります。



- 内臓動脈瘤：比較的稀ですが、しばしば破裂して見つかります。
- 下肢静脈瘤：下肢のだるさ、腓返り、浮腫、瘤の形成などを生じます。血管焼灼術を施行します。

透析導入のシャント作成も行います。開心術に関しては準備中で、可及的早期に実現するため大阪大学心臓血管外科と協力しつつ努力しております。

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
川平 洋一	かわひら よういち	主任部長	日本外科学会認定医・専門医、日本脈管学会専門医、日本胸部外科学会認定医・指導医、臨床研修指導医、下肢静脈瘤血管内治療実施医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医、腹部ステントグラフト実施医、緩和ケア研修修了、BLS研修受講修了、長時間労働医師へ面接指導の実施にかかる研修修了

乳腺外科



乳がんの標準治療(外科治療、薬物療法、放射線治療)
乳がん再発治療を実施

診療の特色

● 乳がんの早期発見と個別化治療

受診患者には主に視触診、マンモグラフィ、超音波検査を行い、異常が認められれば穿刺吸引細胞診や針生検、マンモトーム生検などの病理検査を実施。さらに乳がんの発見の感度が高いと言われている乳腺専用のコイルを用いた乳房MRI撮影を行い、画像診断と病理診断の整合性を確認した上で、乳がんと診断された患者には個々に合わせた治療を実施。乳房温存療法でセンチネルリンパ節生検を行う患者にはリンパ節転移が2個以下の場合には腋窩リンパ節郭清の省略も行い、術後のQOLも重視した治療を実施。また組織の免疫染色で乳がんのタイプ分類を行い、それぞれのタイプに合った薬物療法も実践。当院は放射線科と連携し、乳癌術後放射線療法などを当施設で実施可能。

● 乳がん晩期再発の診断と治療

晩期再発は乳がんの手術治療が終わって5年以上経過して再発すること。通院を終了している患者もあり、突然咳や痛みなどの症状で来院される方や、術後10年以上経過して再発する患者もある。この診断には画像診断だけでなく、転移、再発部位の組織診断が重要。当院では晩期再発を疑う患者には積極的に再発部位の組織採取を行い、病理医、腫瘍内科医、放射線科医と一緒に晩期再発の診断を実施。また再発患者に対する緩和治療も実施。

● 乳房再建

形成外科医と連携して乳房再建術も実施。自家組織（広背筋、腹直筋）や人工乳房（インプラント）の再建など個々に合わせた乳房再建を実施。

主要検査

- 乳腺・甲状腺超音波検査
- 乳房X線検査(マンモグラフィ)
- 乳房断層撮影
- 乳房造影MRI
- センチネルリンパ節生検
- 吸引式乳腺組織生検

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：186人)

乳がん手術：65例／吸引式乳腺組織生検：29例 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
安積 達也	あづみ たつや	主任部長 乳腺センター長	日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医、マンモグラフィ読影医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、乳腺超音波技術認定医、日本医師会認定産業医

産婦人科



産科から婦人科悪性腫瘍まで、あらゆる疾患に対応

診療の特色

産婦人科としては、羽曳野・藤井寺・柏原市域における最大の施設。産婦人科救急(24時間医師が在院)にも対応。

産科

- 充実した体制の下、無痛分娩を含めた満足度の高い出産(立会い出産・母乳保育)を提供。
- 助産師(常勤)による、育児・母乳相談を実施。

婦人科

- 腔式手術(子宮筋腫、子宮脱等)、子宮鏡手術、腹腔鏡手術(卵巣腫瘍、不妊等)、悪性腫瘍根治手術を実施。
- 放射線療法(進行子宮頸部癌についても積極的に対応)も実施。
- 悪性腫瘍治療の化学療法の一環として、遺伝学的検査も実施。
- 思春期・更年期障害、尿失禁などの女性ヘルスケアにも対応。

不妊

- 人工授精まで対応(体外受精は除く)。

主要検査

- 子宮鏡検査
- 超音波検査
- 骨塩定量測定
- CT等各種画像診断

主な診療実績(令和4年度 退院患者数:1,724人)

子宮体がん:109件/子宮頸がん:39件/卵巣がん・卵管がん:106人
分娩件数:958件(うち無痛分娩:254件)
手術件数:645件(うち腹腔鏡下手術:181件/子宮鏡下手術:75件)

その他

- 日本産科婦人科学会の認定医制度研修施設

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
赤田 忍	あかだ しのぶ	主任部長	日本産科婦人科学会認定指導責任者・専門医、母体保護法指定医、大阪府難病指定医
安川 久吉	やすかわ ひさよし	副部長	日本産科婦人科学会専門医・指導医、母体保護法指定医
長安 実加	ながやす みか	医長	日本産科婦人科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定(産科婦人科)、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
穂西 実加	あきにし みか	診療主任	日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医、緩和ケア研修修了
中谷 沙也佳	なかに さやか	医員	
坂元 優太	さかもと ゆうた	医員	
梅原 健耶	うめはら けんや	医員	

〈はびきやまセミナー〉

はびきやまセミナーは、羽曳野市、藤井寺市、柏原市など近隣の地域で開業もしくは病院に勤務されている産婦人科の先生方を対象に行っている勉強会です。当センターの近況報告や最近の産婦人科の話題を提供する場として平成17年から始まりました。大阪産婦人科医会承認の勉強会で、例年6月に開催しておりますので、時間が許す限り奮ってご参加ください。※詳細はホームページをご覧ください。



小児のアレルギー・呼吸器疾患の専門治療、一般小児疾患にも広く対応

診療の特色

- 気管支喘息（特に難治性喘息）などの呼吸器疾患の総合治療を実施。
- 食物アレルギーの治療に力を入れており、食物経口負荷テスト、経口免疫療法を積極的に実施。
- 心理的な側面が大きく関与するケースには、臨床心理士が治療に参加。
- 病棟保育士が在籍。幼児の入院に対応。
- 地域連携を図り、一般小児科疾患の入院にも可能な限り対応。
- 小児結核の治療、結核家族検診（小児）を実施。
- 隣接する大阪府立羽曳野支援学校と連携し、入院中の教育も可能。
- 新生児はNICU(3床)を併設。またレスパイト入院を実施。
- 小児循環器専門外来あり。（詳しくは地域医療連携室にお尋ねください。）

主要検査

- アレルギー検査（皮膚テスト、特異的IgE抗体測定、食物経口負荷テスト）
- 呼吸機能検査、連動誘発検査、気道過敏性検査、呼気中NO測定、胃食道逆流症検査、CT、MRI
- 副腎皮質予備能検査（ACTH負荷テスト）

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：1,917人)

食物アレルギー：1,152人／気管支喘息：78人／肺炎、気管支炎：73人
 新生児疾患・先天疾患：311人／その他：303人

その他

- 病診連携を目的に南大阪小児アレルギーカンファレンスと柏羽藤小児臨床懇話会を開催。
- 小児アレルギー疾患に精通した小児アレルギーエドゥケーター（看護師、薬剤師、管理栄養士）が在籍。

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
亀田 誠	かめだ まこと	主任部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医
吉田 之範	よしだ ゆきのり	部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法講習会「専門」コース（Aコース）インストラクター
高岡 有理	たかおか ゆり	副部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医
深澤 陽平	ふかさわ ようへい	医長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医、臨床研修指導医
釣永 雄希	つりなが ゆうき	医長	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本小児感染症学会認定医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）修了
上野 瑠美	うえの るみ	診療主任	日本小児科学会専門医
山口 智裕	やまぐち とむひろ	診療主任	緩和ケア研修修了
九門 順子	くもん じゅんこ	レジデント	日本小児科学会専門医
山手 和智	やまて かずとも	レジデント	日本小児科学会専門医、緩和ケア研修修了
中竹 俊伸	なかたけ よしのぶ	レジデント	日本専門医機構認定小児科専門医
梅田 有観	うめだ ゆうみ	レジデント	
中原 康輔	なかはら こうすけ	レジデント	

〈小児アレルギーエドゥケーター(PAE)による講習会〉 小児アレルギーエドゥケーターとは、アレルギーに対する専門的な知識と技術を有すると学会認定されたメディカルスタッフです。現在当センターには11名（看護師9名、管理栄養士1名、薬剤師1名）が在籍しています。平成24年ころより地域の学校、保育所、保健所、消防署等から依頼を受けて「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応」「アトピー性皮膚炎のスキンケア」「喘息吸入療法」などの講習会を年間40件程度行っています。

皮膚科



アレルギー性皮膚疾患、重症・難治性皮膚疾患の専門治療

診療の特色

- 皮膚に関するアレルギー性疾患の専門治療。
 1. アトピー性皮膚炎治療（特に重症例・難治例）に注力。
 - 確立された多職種患者教育システムによる治療効果の向上：乳幼児アトピー教室、アトピーサマー学校（小中学生対象、入院）、アトピーカレッジ（成人対象、入院）
 - 心身相関に留意した全人的医療：小中学生の入院治療では、大阪府立羽曳野支援学校と連携し不登校合併例にも対応
 - 豊富な経験に基づく、新規治療薬の適切な導入による重症例の長期寛解維持の達成、QOLの回復。
 2. 食物アレルギー、薬剤アレルギー、接触皮膚炎の原因精査、加療。
 3. 重症薬疹の入院加療（血漿交換を含む）。
- アレルギー性疾患以外の難治性皮膚疾患全般に対応。

水疱症、難治性湿疹、紅皮症、重症乾癬、脱毛症、膠原病（皮膚症状を主症状とするもの）など
- 分子標的治療薬による治療（アトピー性皮膚炎・乾癬・慢性蕁麻疹など）

適応症例をみきわめ重症例に対して最善の加療を実施。
- 地域の皮膚科一般診療の二次、三次機関。

帯状疱疹、重症皮膚感染症、皮膚腫瘍（原則局所麻酔の範囲）手術などの入院加療。
- 皮膚科病棟20床（一般16、小児4）を有し、ほぼ随時入院加療が可能。

医療設備・検査

- 紫外線全身照射設備(NB-UVB)、ターゲット型エキシマライト、エキシプレックス、紫外線手足照射器
- イオントフォレーシス（掌蹠多汗症など）
- 皮膚超音波検査(VenueSO)
- 皮内テスト、プリックテスト、光テスト
- パッチテスト、負荷試験（チャレンジテスト）、皮膚生検
- 発汗テスト

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：468人)

アトピー性皮膚炎（重症・成人含む）：239人／薬疹・薬物過敏症：17人／食物アレルギー、アナフィラキシー：23人
帯状疱疹：27人／悪性腫瘍：7人 他 アトピーカレッジ（入院）参加者：158人

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
片岡 葉子	かたおか ようこ	副院長 主任部長 アトピー・アレルギーセンター長	日本皮膚科学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本心身医学会専門医
坂本 幸子	さかもと さちこ	診療主任	
木村 優香	きむら ゆうか	医員	緩和ケア研修修了
長塚 由美	ながつか ゆみ	医員	緩和ケア研修修了
坂本 理佳	さかもと りか	医員	緩和ケア研修修了
藤田 壮	ふじた そう	レジデント	緩和ケア研修修了

〈はびきのDチャンネル〉

ご紹介いただいた症例の情報共有と地域医療の啓発活動として、Webによる症例報告会を2か月に1回実施しています。この活動を通じて、皮膚疾患に遭遇することの多いプライマリケアの先生方にもご協力いただき、地域の皮膚科診療を支えていきたいと考えています。

耳鼻咽喉・頭頸部外科



アレルギー、鼻副鼻腔疾患の専門的診療と 耳鼻咽喉・頭頸部外科領域全般の診療

診療の特色

- 耳鼻咽喉科領域のアレルギー、鼻副鼻腔疾患の専門的診療
 - ・ 難治性アレルギー性鼻炎に対して様々な検査を行うことで正確な診断を行い、免疫療法、手術療法、生物学的製剤などの様々な治療を組み合わせる。小児アレルギー性鼻炎では小児科と連携してアレルギー免疫療法を中心に治療。
 - ・ 難治性である好酸球性副鼻腔炎に対して、One airway one disease 治療としてアレルギー・リウマチ内科と連携し、内視鏡下副鼻腔手術、生物学的製剤などの治療を包括的に実施。
 - ・ その他のアレルギー疾患、免疫疾患全般に対する精査。
- 耳鼻咽喉・頭頸部外科領域全般の診療
 - ・ 難聴、耳鳴の精査 補聴器装用の必要性についても精査。新たにABR検査機器を導入し、小児についても難聴の精査を実施。
 - ・ 顔面神経麻痺の予後診断として欠かせないElectroneurography (ENoG) も導入。
 - ・ めまいの精密検査であるビデオヘッドインパルス検査 (vHIT) を新たに導入。
 - ・ 頭頸部腫瘍（頸部腫瘍、耳下腺、顎下腺、甲状腺など）の精査もエコー新機種を導入し、積極的に実施。

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医研修施設、大阪大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設、
日本アレルギー学会教育研修施設、日本気管食道科学会認定専門医研修施設（咽喉系）、日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設
※地域の医療機関との勉強会である「はびきの耳鼻咽喉科セミナー」を年1回開催。

主要検査

- ・ 電子ファイバースコープ検査 PENTAX OPTIVISTA PLUS 高精細な内視鏡画像システム
- ・ アレルギー検査・鼻腔通気度検査
- ・ 平衡機能検査（赤外線CCDカメラ装置、重心動揺検査、ENG、ビデオヘッドインパルス検査 (vHIT)）
- ・ 聴力検査（純音聴力検査、語音聴力検査、耳鳴検査、ABR）
- ・ 顔面神経麻痺検査（Electroneurography (ENoG)）
- ・ 超音波検査
- ・ 味覚検査・嗅覚検査（静脈性嗅覚検査、基準嗅力検査）
- ・ 内視鏡下副鼻腔手術 内視鏡システム ナビゲーションシステムを新病院で更新



外来内視鏡システム



顔面神経麻痺検査
およびABR検査など



めまいの精査 vHIT



超音波検査



内視鏡下副鼻腔手術

主な診療実績(令和4年度)

内視鏡下鼻・副鼻腔手術（Ⅱ～Ⅳ型）：125件 鼻中隔矯正術：65件 内視鏡下鼻手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）：157件
口蓋扁桃手術（摘出）：90件 アデノイド切除術：20件
耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）：2件 顎下線摘出術：2件 甲状腺腫瘍摘出術：2件
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術：2件 他

スタッフ紹介

医師名	職名	専門分野	認定医・専門医・指導医
川島 佳代子 かわしま かよこ	医務局長 主任部長	鼻副鼻腔 アレルギー	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医・専門研修指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本鼻科学会鼻科手術暫定指導医、日本喘息学会認定専門医、厚生労働省認定補聴器適合判定医、日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医、身体障害者福祉法15条指定医、日本医師会認定産業医、大阪府難病指定医、臨床研修指導医、厚生労働省臨床研究・治験従事者研修修了、緩和ケア研修修了、TNT(Total nutrition therapy)研修修了、嚥下機能評価研修修了、大阪府災害医療研修修了、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法講習会修了、病院職員勤務評価制度評価者研修指導者養成研修修了、日本医師会ACLS・ACLS大阪修了、日本医師会医療安全推進者研修修了、大阪府医師会指定学校医
花田 有紀子 はなだ ゆきこ	副部長	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医・専門研修指導医、日本気管食道科学会専門医（咽喉系）、厚生労働省認定補聴器適合判定医、大阪府難病指定医、日本医師会認定産業医、緩和ケア研修修了
奥野 未佳 おくの みか	診療主任	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医、大阪府難病指定医、緩和ケア研修修了、TNT(Total nutrition therapy)研修修了、ACLS大阪修了
河辺 隆誠 かわべ たかなり	医員	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医、嚥下機能評価研修修了、緩和ケア研修修了、NST医師・歯科医師教育セミナー修了、厚生労働省オンライン診療研修修了
永井 裕子 ながい ゆうこ	レジデント	耳鼻咽喉科一般	

泌尿器科



泌尿器科領域の悪性疾患や排尿障害、尿路結石などあらゆる疾患に対応しています

診療の特色

- 副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精嚢、尿道、精巣、陰茎、陰嚢に関する泌尿器科疾患全般を扱い、前立腺癌検診、超音波診断、CT、MRIなどの画像診断、また軟性膀胱鏡検査や尿流量測定などにより泌尿器科専門医が専門的な治療を提供。
- ダビンチを用いての前立腺、腎尿管、膀胱領域の悪性腫瘍に対するロボット支援手術を提供(腎盂形成術、仙骨腔固定術を含む)。
- 体外衝撃波結石粉碎装置による尿路結石に対する新たな治療法を提供。

主要検査

● 軟性膀胱鏡検査

経尿道的(尿道から)に内視鏡を挿入し、尿道・膀胱・前立腺を観察する検査です。当科では、細くやわらかく滑らかに曲がるスコープを導入し、苦痛を大幅に抑え施行することが可能です。日帰りで行うことができ、検査日以前の準備や処置の必要もありません。

● 尿流測定検査

この検査では、「尿流量測定装置」を使って尿の出方を測定します。いつものように排尿するだけで、尿の勢い・1回排尿量・排尿時間などを測定します。また、この検査の後に残尿を測定することで、より多くの情報が得られます。

● 前立腺超音波検査

前立腺の形や大きさ、また前立腺内部及び周囲の状態を超音波で調べる検査です。お腹からの超音波検査は一般的ですが当科では専用のプローブを用い肛門から行います。経直腸的超音波検査は腹部からの超音波検査に比べて鮮明な画像が得られるため、より正確な検査が行えます。そのため、前立腺がんの超音波検査には直腸から行う経直腸的超音波検査が多く用いられます。



内視鏡手術支援ロボット
インテュイティブサージカル製 Da Vinci Xi



結石破碎装置
Modulith SLX-F2

主な診療実績(令和4年度 退院患者数: 312人)

前立腺がん: 80人/膀胱がん: 64人/その他悪性腫瘍: 31人



膀胱腎盂ビデオスコープ

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
福井 辰成	ふくい たつなり	主任部長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、日本がん治療認定医機構認定医、身体障害者福祉法指定医(腎臓機能障がい)、臨床研修指導医、日本医師会認定産業医、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
大草 卓也	おおくさ たくや	診療主任	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、緩和ケア研修修了
山口 誓司	やまぐち せいじ	院長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構認定医、日本内分分泌外科学会認定専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本移植学会認定医、日本臨床腎移植学会認定医、泌尿器ロボット支援手術プロクター、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、ICD制度協議会認定ICD

整形外科



変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療を行っています

診療の特色

- 令和4年4月に開設。
- 変形性膝・股関節症のロボット支援手術が可能。
骨粗鬆症のDEXA検査と血液検査による病態把握と早期治療開始。
- 専門分野
膝や股関節の人工関節手術、腰痛症を始め骨粗鬆症、脊椎外科治療、一般外傷手術。

変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療

- 変形性膝関節症や変形性股関節症による関節痛、変形に対して、関節内ヒアルロン酸注射や外用薬、装具療法などの保存的加療を行いますが、病状が悪化、歩行障害が増悪した際には、最新の設備によるロボット支援人工関節手術を検討します。
- また閉経後女性の腰痛に対してはDEXA検査による骨密度測定、血液検査により骨粗鬆症加療の早期介入により、腰痛症状の改善が見込めるだけではなく、高齢化に伴う背骨の圧迫骨折や、手関節、肩関節、股関節の骨折予防に非常に有益であります。
- 又、非常勤ではありますが、大阪大学より脊椎外科の専門医が外来を担当してくれることとなりましたので、高齢化に伴う腰部脊柱管狭窄症をはじめとする、腰椎椎間板ヘルニアや腰椎分離症やすべり症、側弯症などの疾患に関しても適切な治療方針の決定と必要な加療を関連病院と連携しながら提供できるようになりました。
- 今後は総合病院として地域の方々の健康寿命の延長に寄与し、整形外科疾患をお持ちの方も安心して通院していただける様、より一層、充実した外来を目指していきます。



ロボティックアーム手術支援装置
(股関節・膝関節用)
ストライカー製 Makoシステム



骨密度測定装置
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
PRODIGY Fuga C

主な診療実績(令和4年度 退院患者数：94人)

うち骨折66例(大腿骨、腰椎 他)、膝関節症3例 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
塚本 泰徳	つかもと やすのり	主任部長 リハビリテーション科 主任部長	日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会認定医、日本人工関節学会認定医 日本整形外科学会(リウマチ認定医・スポーツ認定医・リハビリ認定医)
谷内 孝次	やち こうじ	副部長 リハビリテーション科 副部長	日本整形外科学会専門医



現在非常勤医のみで、白内障、緑内障等の眼科一般診療を実施

診療の特色

- 現在眼科は非常勤医のみの診察になります。
一般診察の受付時間は、月・火・木・金の午前(8時45分～10時30分)までです。
患者様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程宜しくをお願いします。
- 紹介状をお持ちでなくても受診可能ですが、予約や紹介患者様が優先になります。
初診申込みは、事前にかかりつけ医を通して、当センター地域医療連携室で予約をお取りして受診されるようにお願いします。

医療設備・検査

- 細隙灯顕微鏡検査
- フルオレセイン蛍光眼底造影検査(FAG)
- 動的視野検査
- OCT

主な診療実績(令和4年度)

延べ外来患者数：3,493人

スタッフ紹介

非常勤医師 4名、 視能訓練士 1名

歯科口腔外科



口腔外科疾患に対応し、周術期等口腔機能管理、口腔ケアを実施

診療の特色

- 口腔外科疾患を対象に診断、治療、手術を実施しています。
- 親知らずや埋伏過剰歯など難易度の高い抜歯や全身管理が必要な抜歯、口腔周囲や顎骨の嚢胞・腫瘍、歯性感染症、薬剤関連顎骨壊死、軟組織損傷や骨折などの顎顔面外傷、口腔粘膜疾患、顎関節症、閉塞性睡眠時無呼吸（口腔内装置での治療）などの診療を行います。
- 当院で手術や化学療法を行う患者さんに対しては、周術期等口腔機能管理を行い、術後や治療の併発症を予防し、順調な回復をサポートします。
- 誤嚥性肺炎など細菌性肺炎の治療には、口腔ケアが重要です。必要な入院患者さんに対しては口腔ケアを行い、早期の全身状態回復を支援します。
- 入院患者さんにつきましては、応急的な歯科治療は行い、退院後には地域の歯科医療機関で継続して治療していただけるように連携いたします。
- 原則、かかりつけ歯科医院や医療機関からご紹介いただいた患者さんを診療させていただきます。
- 外来診療では、一般歯科治療（虫歯、入れ歯、定期検診など）は行っておりません。一般歯科治療は、地域の歯科医療機関と連携を取り、依頼しております。

スタッフ紹介

歯科医師名		職名	認定医・専門医・指導医
助 手	美 帆	すけだい みほ	主任部長
			日本口腔外科学会認定医・専門医、日本口腔科学会認定医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了

麻酔科



重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応

診療の特色

● 麻酔・周術期管理

院内診療科の全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎くも膜下麻酔を担当。

一般的な合併症症例をはじめ、様々な呼吸器系合併症症例の麻酔管理に対応。特に、慢性閉塞性肺疾患、喘息を合併した症例や、結核やその他の呼吸器感染症の治療中や治療直後の症例、さらには、進行し在宅酸素療法を必要とする重症の低肺機能症例や気道狭窄症例の周術期管理にも対応。

外科系全診療科と術前症例検討会を行って、術前問題点についての検討や必要な症例には術前管理に関する助言を実施。術後全身管理に関しても、特に重症症例について積極的に助言・協力を実施。

新病院開院でハイブリッド手術室や手術支援ロボット手術室を得て、近年増設された泌尿器科、整形外科、心臓血管外科、口腔外科などの多様な手術にも対応。

● 術後疼痛管理

局所麻酔薬の持続硬膜外投与やオピオイドの持続静脈投与、あるいは各種末梢神経ブロックなどを用いて、術後疼痛に対し積極的に対応。

● ペインクリニック・緩和ケア

ペインクリニックは入院患者に対し、個別に対応。また緩和ケアに参画し、癌性疼痛患者の疼痛管理に助言・協力。

医療設備

- 麻酔器
- 生体情報モニタ
- 脳波モニタ
- 筋弛緩モニタ
- 超音波診断装置
- 血液ガス・電解質分析装置
- 気管支ファイバー

主な診療実績(令和4年度)

● 麻酔科管理：1,073例

全身麻酔：959例（うち硬膜外麻酔併用：376例）／（神経ブロック併用：226例）

脊髄くも膜下麻酔：112例（うち硬膜外麻酔併用：3例）／（神経ブロック併用：25例）

硬膜外麻酔：1例 伝達麻酔：1例

● 気道管理

分離肺換気：221例

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
高内 裕司	たかうち ゆうじ	主任部長	日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、日本集中治療医学会認定集中治療専門医
播磨 恵	はりま めぐみ	副部長	日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了
安藝 裕子	あき ゆうこ	診療主任	日本麻酔科学会専門医、緩和ケア研修修了
後藤 佳澄	ごとう かすみ	医員	麻酔科標榜医

集中治療科



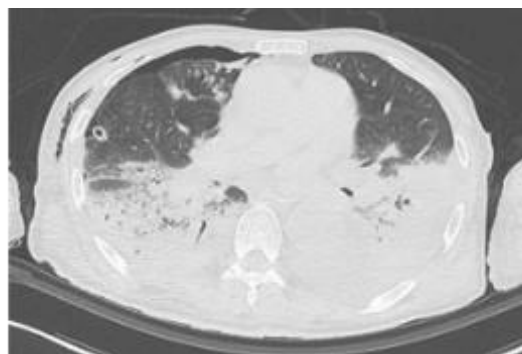
急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を提供

診療の特色

- 集中治療とは、内科・外科を問わず、生命の危機にある急性期重症患者を、24時間の厳重な観察のもとに、先進医療技術を駆使して集中的に治療することで、救命し、病態の安定化および回復を図ることを目指す急性期全身管理医学。
- 集中治療専門医1名を有し、看護師、理学療法士、臨床工学士、薬剤師、呼吸ケアサポートチームとともに多職種からなる診療チーム(ICU診療チーム)を立ち上げ、日勤帯には集中治療室専任医師が常駐する体制で重症疾患治療部門を運営。
- 各専門診療科と連携して、院内および院外からの重症患者を受け入れ、ARDSやCOPD増悪、気管支喘息重症発作などの急性呼吸不全・慢性呼吸不全急性増悪をはじめ、ショック・心不全や急性腎障害、重症感染症など様々な重症病態・多臓器不全に対する集学的治療を実施。
- 早期からの経腸栄養療法や早期リハビリテーションを導入し、さらに、人工呼吸管理中も睡眠の調節および日中積極的な覚醒下での管理による患者とのコミュニケーションを図ることで、患者を救命できるだけではなく、さらに、以前の家庭生活や社会生活が送れるレベル、ICU退室後の社会参加までを視野に入れた最良の回復を目指す。

ARDS (急性呼吸窮迫症候群)

肺炎や敗血症などの感染症、急性脾炎、多発外傷など、様々な先行疾患が引き金となって発症する重篤な呼吸障害。胸部レントゲンでは、両側性の肺浸潤影が認められる。ARDSを引き起こす原疾患は、肺炎や尿路感染症などの細菌感染から多発外傷、熱傷、ARDSでは、一般的に行われる酸素吸入では十分に酸素を体内に取り込むことが困難な重篤な呼吸不全を発症するため、人工呼吸器を用いた呼吸管理を行う必要がある。その多くの場合は、気管挿管を行った上で侵襲的人工呼吸管理を行うが、集中治療科でも、専任医師の管理のもと、習熟したスタッフにより実施している。



ARDSの胸部CT

早期離床・早期リハビリテーション

近年、ICUにおける患者の救命率は向上したが、病状が回復しICUを退室した患者において、退院後も運動機能やメンタルヘルスの障害が高率に発生し、患者の生活の質(QOL)を損ない、社会復帰への妨げとなる大きな問題となっている。このような患者に対し、人工呼吸管理中から早期離床・早期リハビリテーションを行うことで、ICU退室時や退院後の患者の筋力回復や機能的自立度の改善効果が期待できる。

当科では、集中治療科医師、看護師、理学療法士により共同して、人工呼吸管理中の重症患者への早期離床・早期リハビリテーションのためのプログラム作成し、入室後速やかに介入を開始し、理学療法士、看護師、医師が協力しながら、人工呼吸管理中でも積極的に座位保持、立位、歩行へと離床を行っている。

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
柏 庸三	かしわ ようぞう	主任部長	日本集中治療医学会専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医

救急診療科



呼吸器疾患をはじめ急性腹症、循環器疾患など幅広い救急初期診療を提供

診療の特色

- 令和4年4月より救急診療科を開設。
- 日本救急医学会専門医・指導医が、平日時間内は救急室に常駐して、初期から二次救急に迅速対応。
- 病院各科と連携して、重症度を問わず、呼吸器疾患をはじめとして急性腹症、循環器疾患、一般外傷などの幅広い急性期疾患に対する初期診療を提供。

主な診療実績(令和4年度)

救急搬送受入件数 2,081件

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
廣田 哲也	ひろた てつや	主任部長	日本救急医学会専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医、日本救急医学会ICLSコース インストラクター・ディレクター、麻酔科標榜医



画像診断科 放射線治療科



CT、MRIや核医学検査などの画像診断、IVRおよび放射線治療

診療の特色

画像診断

- CT検査、MRI検査、ラジオアイソトープ検査などの画像検査を施行。
- CTは2台のマルチスライスCT装置（Dual Energy CT装置）が稼動。
- MRIは2台（1台は1.5T、もう1台は3T）の装置が稼動。
- 当施設は日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィー検診認定施設。
- CT、MRIおよびラジオアイソトープ検査は、地域医療連携室を介して受託施行。画像診断報告書と画像データ（CD-ROM）は、原則として1～2診療日以内に依頼いただいた医療機関に郵送。

IVR（interventional radiology）/画像ガイド下治療

- カテーテルや専用の穿刺針などを使用し、画像ガイド下に治療を実施。
- 持続する血痰や喀血に対する気管支動脈などの動脈塞栓術、産科危機的出血に対する動脈塞栓術、内視鏡治療で止血困難な消化管出血に対する動脈塞栓術、上大静脈症候群に対するSVCステント留置術、CTガイド下生検、CTガイド下ドレナージなどを院内の各診療科からの依頼を受けて施行。

その他の検査・治療

- 心臓カテーテル検査は循環器内科医が担当施行。
- 気管支鏡検査および気管支鏡ガイド下の治療（肺腫瘍内科医と呼吸器内科医が担当）や子宮卵管造影（婦人科医が担当）なども施行。

放射線治療

- 放射線治療の外来予約は地域医療連携室を介して受託施行。放射線治療専門医と相談し治療の適応を決めさせていただきます。地域医療連携室へのご連絡をお願いいたします。

業務実績(令和4年度)

一般撮影：43,000件／歯科、骨塩定量：842件／マンモグラフィー：2,644件
気管支鏡検査：214件／血管造影検査：211件／放射線治療1,730件(4月～12月)
CT：13,915件／MRI：2,752件／アイソトープ検査：438件

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
竹下 徹	たけした とおる	画像診断科 主任部長	日本医学放射線学会専門医・研修指導者、日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR専門医
後藤 拓也	ごとう たくや	画像診断科 医員	日本医学放射線学会・日本専門医機構認定放射線科専門医

※非常勤画像診断医6名／診療放射線技師16名

[放射線関連専門技師]

第1種放射線取扱主任者：2名／放射線治療品質管理士：1名／放射線治療専門技師：2名
医用画像情報精度管理士：2名／肺がんCT検診認定技師：5名
検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師：3名／日本X線CT専門技師認定機構 CT認定技師：3名
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師：1名／医療情報技師：3名／磁気共鳴専門技術者：1名
臨床実習指導教員：1名／放射線機器管理士：1名／放射線管理士：1名／Ai認定診療放射線技師：2名



3T 磁気共鳴画像診断装置（MRI）
シーメンス製 MAGNETOM Vida



Dual Source CT装置
シーメンス製 SOMATOM Drive



血管造影X線装置
フィリップス製 Azurion 7 C20



リニアック（直線加速器）
バリアン製 True Beam

臨床検査科



迅速かつ正確な検査結果の報告

診察の特色

- アレルギーの原因を突き止めるために、多数のアレルゲン項目を測定。
- アトピー性皮膚炎の皮膚病変のモニタリングに有用なTARCの検査。
- 抗カビ抗体の免疫血清検査。
- フローサイトメトリーで免疫機能の状態を調べる検査。
- 肺胞洗浄液から、アスベスト小体の検出や肺内の病気を調べる検査。
- 結核菌検査では、より効率の良い集菌、蛍光染色法を用い、喀痰中の結核菌の有無を、迅速の場合、約15分で報告。
- 結核菌やマイコプラズマの遺伝子検査。
- 長時間必要な結核菌の培養や薬剤感受性試験を最短2週間で報告。
- 睡眠時無呼吸症候群の検査(1泊) やその治療(2～3日の入院)。
- 精密呼吸機能検査が充実しており、呼吸抵抗なども測定し、また測定結果から肺年齢を判定。
精密呼吸機能検査については、地域連携を通じて依頼を受け、実施。
- 心臓・血管、腹部、乳腺を含む体表などの超音波検査。
- 聴覚、嗅覚、味覚、平衡感覚などの生理機能検査。

主要検査

生化学・免疫検査	肝機能等やアレルギーの原因物質、免疫抗体等の検査
血液検査・輸血検査	赤血球、白血球数等の測定や血球細胞の分類、血の固まり易さの検査
一般検査	尿、便の検査、喀痰、鼻汁中の好酸球の検査
細菌検査	感染症と思われる検体から、その原因を見つけ、有効な薬剤の探索
生理機能検査	肺活量や心電図、超音波検査などの、身体の機能を計測する検査

検体検査件数(令和4年度)

生化学・免疫検査：910,249項目／血液検査：152,489件／輸血検査：10,621件／細菌検査：20,136件
抗酸菌（結核菌）検査：17,776件／呼吸機能検査：20,199件／その他生理機能検査：13,961件

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
田村 嘉孝	たむら よしたか	主任部長 感染症センター長	日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医
山口 徹	やまぐち とおる	レジデント	日本内科学会認定医、日本医師会認定産業医

※臨床検査技師 全24名

【資格保有人数一覧】

細胞検査士：6名／結核・抗酸菌症認定エキスパート：1名／国際細胞検査士：2名／認定血液検査技師：1名
認定臨床微生物検査技師：2名／超音波検査士（消化器）：2名／1級臨床検査士（血液）：1名
超音波検査士（循環器）：2名／2級臨床検査士（微生物）：3名／超音波検査士（健診）：1名
2級臨床検査士（血液）：2名／2級臨床検査士（病理）：1名／超音波検査士（産婦人科）：1名
緊急臨床検査士：7名／超音波検査士（泌尿器）：1名／認定病理検査技師：2名／乳房超音波講習会A判定：1名
超音波検査士（体表）：5名／認定サイトメトリー技術者：2名
感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)：2名

施設認定 認定臨床微生物検査技師制度研修施設

リハビリテーション科



急性期から慢性安定期のリハビリテーションを実施

診療の特色

- 呼吸リハビリテーション
入院患者を対象として、主に①運動時の評価、必要酸素吸入量の設定、②病態に合わせた呼吸法や呼吸困難感を緩和できる日常生活動作方法の指導、③適切な運動負荷の設定や運動の処方など、を提供。
- 摂食・嚥下リハビリテーション
入院患者を対象として、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査を用いた詳細な評価と言語聴覚士による治療介入を実施。また、耳鼻科医師・歯科医師・看護師・薬剤師・言語聴覚士等によって構成された嚥下サポートチームによる回診を実施。
- 令和3年度よりがんリハビリテーション、令和4年度より整形外科術後のリハビリテーションを開始。

主な対象患者

- 肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、結核後遺症などの安定期慢性呼吸不全患者、および急性増悪後の患者
- 気管支喘息などのアレルギー性呼吸器疾患患者
- 肺癌などの胸部手術の術前・術後患者
- 結核、肺炎などの感染性疾患患者、ARDS重症肺炎などの急性呼吸器不全の患者
- 人工股関節置換術後、人工膝関節置換術後の患者
- 慢性心不全、心臓カテーテル治療後の患者



主な診療実績(令和4年度)

呼吸器リハビリテーション：10,549件／廃用症候群リハビリテーション：746件
運動器リハビリテーション：1,823件／脳血管疾患等リハビリテーション：209件
がん患者リハビリテーション：968件／心大血管疾患リハビリテーション：272件／摂食機能療法：1,772件

一般的な呼吸リハビリテーションプログラム

- 呼吸訓練（口すぼめ呼吸横隔膜呼吸など） ● 呼吸筋トレーニング
- 胸郭可動域訓練・ストレッチング、呼吸筋ストレッチ ● 運動療法（筋力、運動耐容能）
- 患者教育・動作要領の指導 ● ADLトレーニング ● 排痰法の習得

スタッフ紹介

医師・スタッフ名		職名	認定医・専門医・指導医
塚本 泰徳	つかもと やすのり	主任部長 整形外科主任部長	日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会認定医、日本人工関節学会認定医 日本整形外科学会（リウマチ認定医・スポーツ認定医・リハビリ認定医）
谷内 孝次	やち こうじ	副部長 整形外科副部長	日本整形外科学会専門医
李 仁洙	り いんす	理学療法士 総括主査	3学会合同呼吸療法認定士
中原 千里	なかはら ちさと	理学療法士	福祉住環境コーディネーター 2級
茨木 茉唯	いばらぎ まい	理学療法士	
中川 勇希	なかがわ ゆうき	作業療法士	
大黒 大輔	おおくろ だいすけ	言語聴覚士	日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士（摂食嚥下領域）

外来化学療法科



抗がん剤治療と日常生活の両立と治療

診療の特色

- がんを中心に消化器がん、乳がんなどの通院抗がん剤治療。
- 経験豊富な専任看護師を中心に、抗がん剤治療中の看護。
- 抗がん剤に精通した専任薬剤師を中心に、薬局で点滴治療薬の無菌調剤。



外来化学療法室(20床)

主な診療実績【外来化学療法を行った件数(過去4年間)】

令和元年度：1,988件／令和2年度：1,944件／令和3年度：1,723件／令和4年度：1,722件

病理診断科



病理・細胞診断を迅速かつ正確に行っています

診療の特色

- 患者の身体から採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、それが良性か悪性かの確定診断を実施。
- 病理検査は病理組織診と細胞診の2つに分類。いずれも、治療方針の決定に重要な役割を担っている。
- 当科では地域医療支援の観点から、常勤病理医が勤務していない近隣6病院から術中迅速病理組織検査を引き受けている。
- 亡くなられた患者に対しては、遺族の承諾を得て病理解剖を行い、主治医と病理医で、臨床病理カンファレンス(CPC)を開催。CPCにおいて治療法の妥当性の検証や死因の徹底的な究明がなされ、そのような検討の積み重ねが、他の患者の治療方針にフィードバックされ、医学の進歩に貢献している。
- 臨床病理カンファレンス(CPC)：年4回

主要診断

- 細胞診断
- 生検組織診断
- 手術で摘出された臓器・組織の診断
- 手術中の迅速診断

主な診療実績(令和4年度)

組織診断総計：2,972件／細胞診断総計：8,812件

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
上田 佳世	うえだ かよ	主任部長	日本病理学会専門医・研修指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本臨床検査医学会臨床検査管理医、厚生労働省死体解剖資格認定、臨床研修指導医
森 秀夫	もり ひでお	診療主任	日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、厚生労働省死体解剖資格認定

臨床研究センター



医学と医療の進歩に貢献します

役割

臨床研究センターは、平成18(2006)年4月に院内の診療科・検査科・感染対策チーム(ICT)と連携し「医学と医療の進歩に貢献する」ための臨床研究部として創設され、2017年4月より臨床研究センターに改称。現在、①結核・感染症、②免疫・アレルギー、③分子肺疾患(肺がん)、④呼吸器(COPDや間質性肺炎)の4領域で、患者の臨床検体と診療データを活用した新しい診断検査法・治療薬・発症予防法の開発と、その臨床治験を推進している。また、院内診療科・検査科・ICTと共に、近隣施設の診療や感染対策への支援を行っている。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
橋本 章司 はしもと しょうじ	主任部長 臨床研究センター長 結核・感染症研究室長 感染対策チーム委員長	日本感染症学会推薦ICD、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本感染症学会専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医、日本臨床研修協議会プログラム責任者、日本医師会認定産業医
片岡 葉子 かたおか ようこ	免疫・アレルギー研究室長 皮膚科主任部長 アトピー・アレルギーセンター長 副院長	日本皮膚科学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本心身医学会専門医
門田 嘉久 かどた よしひさ	分子肺疾患研究室長 呼吸器外科主任部長 気胸センター長	日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
森下 裕 もりした ひろし	呼吸器研究室長 呼吸器内科主任部長 呼吸ケアセンター長 副気胸センター長	日本内科学会認定医・指導医、日本呼吸器学会専門医 日本医師会認定産業医、身体障害者福祉法指定医(呼吸器機能障害) 大阪府難病指定医、がんリハビリテーション研修修了

次世代創薬創生センター



産業連携や公衆衛生上の危機に即応した研究を行います

役割

近年、高度専門医療の提供は、医療シーズを橋渡しするTranslational Research (TR)部門と、医療ニーズからシーズを生み出すreverse TR部門が相乗効果をもって開発・提供するトレンドに深化している。令和2年(2020年)8月、reverse TR部門として次世代創薬創生センターを創設。次世代創薬創生センターは、rTRに不可欠な研究開発を行うとともにCOVID-19後遺症のような公衆衛生上の課題に即応する診療ならびに研究を行い、府域医療水準の一層の向上にも寄与している。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
松山 晃文 まつやま あきふみ	主任部長 次世代創薬創生センター長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本循環器学会専門医

看護部



理念：私たちは誠意と温かみのある、やさしい看護を実施します

特 色

- 呼吸器、アレルギー、がん、感染症の分野で専門性の高い看護を提供しています。
- 看護の専門性を活かしチーム医療のファシリテーターとして、活動を推進しています。
- 地域の訪問看護ステーションや他施設と連携し、スムーズな入退院支援に取り組んでいます。
- 自施設だけでなく地域全体の医療・看護の質向上に向けて、研修会や事例検討会を開催しています。

その他

- 専門・認定看護師が「看護専門外来」を行っています。

【呼吸器看護専門外来】 月～金曜日 9:00～17:00

内容：在宅酸素療法、在宅NPPV指導や相談など

【がん看護専門外来】 水・木・金 9:00～17:00

内容：がん告知後のサポートや治療中の療養相談など地域の医療機関にむけた教育活動

- 地域の医療機関にむけた教育活動

【看護セミナー】 年5回程度

対象：地域の病院、訪問看護ステーション看護師

【専門看護コース】 呼吸器、アレルギー、がん看護分野で各4回／年 シリーズ

対象：当センターと地域の病院、訪問看護ステーション看護師



看護専門外来の様子



看護セミナーの様子

スタッフ紹介

看護師名	職名	認定資格
岡田 知子 おかだ ちこ	看護部長	日本看護協会認定看護管理者

常勤看護師：391名／非常勤看護師：53名 （2023年4月1日現在）

日本看護協会認定看護管理者：1名／日本看護協会慢性疾患看護専門看護師：2名
日本看護協会小児看護専門看護師：1名／日本看護協会感染管理認定看護師：1名
日本看護協会緩和ケア認定看護師：2名／日本看護協会がん化学療法認定看護師：1名
日本看護協会がん放射線療法認定看護師：1名／日本看護協会慢性呼吸器疾患看護認定看護師：2名
日本看護協会認知症看護認定看護師：1名／日本看護協会クリティカルケア認定看護師：1名
呼吸ケア指導士：5名／3学会合同呼吸療法認定士：15名
日本小児臨床アレルギー学会小児アレルギーエドクター：8名／アレルギー疾患療養指導士：3名



高度に専門化した薬物療法をサポートしています

特 色

- 患者に安心して治療を受けていただくために、薬学的関与により、より有効で安全な薬物治療に貢献。
- ① 入院時に持参薬確認を行い、処方薬の総合評価の取組としてポリファーマシー解消に向けた減薬などの総合的な評価と調整を行うことで入院から退院まで薬剤師が薬物治療に関して介入している。
- ② がん専門薬剤師を中心とした専門知識を有する薬剤師が、抗がん剤治療をサポートし、患者の適正な投与管理を目的として、地域の保険医療機関及び保険薬局を対象に承認されたレジメンをホームページで公開。トレーシングレポートにより薬業連携を進めている。また、日本医療薬学会「がん専門薬剤師研修施設」等の認定を受け、後進の指導に取り組んでいる。外来診察前のがん患者指導（薬剤師外来）により、退院後も安心して外来治療が継続できるように支援している。
- ③ アレルギー疾患療養指導士をはじめとするアレルギーに精通した薬剤師が、入院患者や小児科外来の喘息患児に対し、実際にデバイスを使用した吸入手技の練習を行い、個々の症状にあったきめ細かい吸入療法の指導を実施。その他のアレルギー関連の指導にもチーム医療として積極的に介入している。
- ④ AST(抗菌薬適正使用チーム)専任薬剤師を配置し、院内で使用する抗菌薬のサーベイランスやモニタリングを実施し、抗菌薬の適正使用に貢献。
- ⑤ 薬業連携の取り組みとして、手術予定の患者の入院前の服用中止薬のチェック、入院中の薬剤の変更及び注意点などを退院時にかかりつけ薬局に情報提供し、保険薬局と連携して服薬管理を実施。また、がん薬業連携事業や大阪アズマネットワーク（吸入指導やアレルギー関連）、地域連携研修会等を開催。
- ⑥ 薬学6年制長期学生実務実習受入施設として、薬学部学生を積極的に受け入れ。



抗がん剤の調製は薬局で行っています。抗がん剤治療において、レジメンの登録管理、服薬指導やチーム医療をサポートしています。



入院時には持参薬の確認をしています。また、薬剤師外来を開設し、吸入指導や手術患者さんの服用薬やアレルギーの確認、がん患者さんには抗がん剤治療薬について説明をしています。

施 設

- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設 ● 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- 日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設 ● 薬学6年制長期学生実務実習受入施設

スタッフ紹介

看護師名	職名	看護師名	職名
金銅 葉子 こんどう ようこ	薬局長	木澤 成美 きざわ なるみ	副薬局長

[学会認定など]

※ 常勤薬剤師：17名／日本医療薬学会がん指導薬剤師：1名／日本医療薬学会がん専門薬剤師：3名
 日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師：3名／日本病院薬剤師会日病薬病院薬学認定薬剤師：8名
 日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師：3名／日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師：7名
 日本結核病学会抗酸菌症登録エキスパート：1名／日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療養士：3名
 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師：1名／日本腎臓病薬物療法学会腎臓病薬物療法認定薬剤師：1名
 アレルギー疾患療養指導士：2名／小児アレルギーエドゥケーター：2名／リウマチ財団リウマチ登録薬剤師：1名

申込日 令和 年 月 日

診療予約申込書

貴医療機関名 ()
 ご住所 (〒)
 貴医師名 ()
 電話番号 () —
 FAX () —

■ 希望される受診科 (☑印を付けてください)

☐ 呼吸器内科	☐ 肺腫瘍内科	☐ 呼吸器外科	☐ 感染症内科	☐ アレルギー・リウマチ内科
☐ 消化器外科	☐ 消化器内科	☐ 乳腺外科	☐ 小児科	☐ 小児循環器専門外来
☐ 皮膚科	☐ 循環器内科	☐ 眼科	☐ 産婦人科	☐ 耳鼻咽喉・頭頸部外科
☐ 泌尿器科	☐ 整形外科	☐ 腎臓内科	☐ 心臓血管外科	☐ 糖尿病・内分泌内科
☐ 歯科	☐ 口腔外科	☐ 放射線治療	☐ その他 ()	

希望医師名 ()

■ 病名及び目的について～日本語でお願いします～

--

■ 受診を希望される日をご記入をお願いします

・第1希望日 ()	・第2希望日 ()	・都合の悪い日 ()
☐ できるだけ早く	☐ 1ヶ月以内の受診希望	

■ ご紹介いただきます患者さまについてご記入をお願いします

フリガナ		性別	※旧姓(名字変更の場合記入)	
患者氏名		男・女		
生年月日	大正・昭和・平成・令和 年 月 日	生まれ (歳)		
フリガナ				
住所	〒			
電話	() —	携帯電話		
当院受診歴	☐ 無 ☐ 有 ID番号 ()			
患者状況	☐ 外来患者 (☐ 貴院待機中 ※ 患者様がお待ちの場合はチェックして下さい) ☐ 入院患者 (☐ 出来高算定 ☐ DPC ☐ その他)			
保険	☐ 健康保険 ☐ 生活保護 ☐ 労災 ☐ その他			
特記事項	ADL (独歩 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー)			

■ 保険情報についてご記入をお願いいたします

保険者番号		記号・番号	
被保険者名		続柄	☐ 本人 ☐ 家族
公費負担者番号		公費受給者番号	
老人一部負担金免除	☐ あり ☐ なし	負担割合	

※ ご記入の上、診療情報提供書と共に FAXして頂きますようお願いいたします。予約通知書 は患者さまにお渡しください。

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室 電話:【直通】072-957-8030 (代表) 072-957-2121 FAX: 072-957-8051

申込日 令和 年 月 日

CT・MRI・RI 検査予約申込書

貴医療機関名 ()
 ご住所 (〒)
 貴医師名 ()
 電話番号 () —
 FAX () —

■ 希望される検査 (☑印を付けてください)

□CT	□頭部 □頸部 □胸部 □上腹部 □骨盤部 □上肢 □下肢 □脊椎 □胸部～骨盤部 □上腹部～骨盤部
□MRI	□頭部 □頸部 □胸部(縦隔) □上腹部 □骨盤部 □上肢 □下肢 □脊椎
□RI	□骨シンチ

■ 病名 及び 目的について～日本語でお願いします～

--

■ 受診を希望される日をご記入お願いします

・第1希望日()	・第2希望日()	※都合の悪い日()
-----------	-----------	------------

■ ご紹介いただきます患者さまについてご記入をお願いします

フリガナ			性別	※旧姓(名字変更の場合記入)
患者氏名			男・女	
生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日		生まれ(歳)	
フリガナ				
住所	〒			
電話	() —	携帯電話		
当院受診歴	□ 無 □ 有 ID番号 ()			
患者状況	□ 外来患者 (□ 貴院待機中 ※ 患者様がお待ちの場合はチェックして下さい) □ 入院患者 (□ 出来高算定 □ DPC □ その他)			
保険	□ 健康保険 □ 生活保護 □ 労災 □ その他			
特記事項	ADL (独歩 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー)			

■ 当日検査来院時、持参画像の有無 (☑印を付けてください)

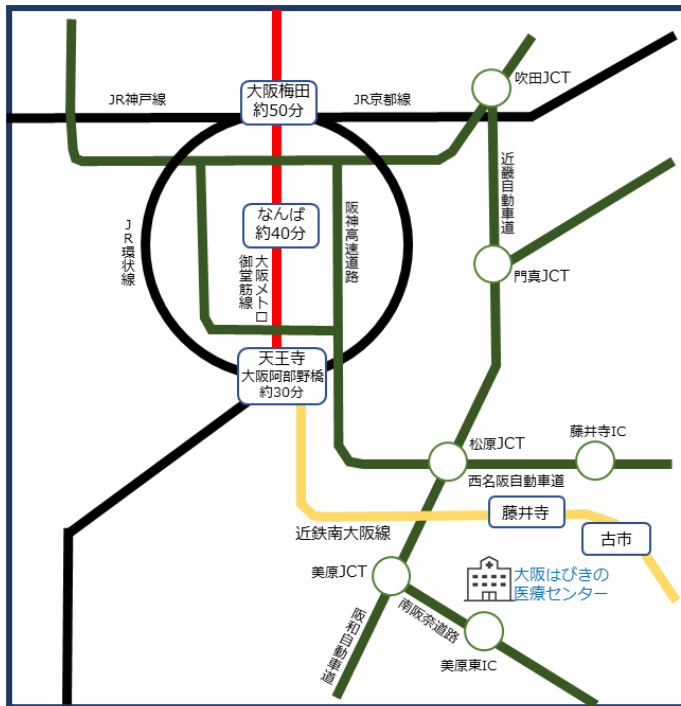
□ 有 ⇒ (有の場合 □ CD □ フィルム) ・ □ 無

※ ご記入の上、診療情報提供書と共に FAXして頂きますようお願いいたします。

(貴院所定の診療情報提供書がない場合は、当センター専用用紙をご利用ください。ホームページよりダウンロード可能です。)

予約通知書 は患者さまにお渡しください。

ACCESS



●電車・バスからのアクセス

近鉄南大阪線「藤井寺」又は「古市」駅下車。近鉄バス「羽曳ヶ丘方面行」又は「四天王寺大学行」に乗車約10分、「府立医療センター」下車すぐ

●自動車（近隣の方）

大阪外環状線「軽里北」交差点又は「西浦」交差点から西へ5分

大阪中央環状線 → 美原口→タリーから府道堺羽曳野線 → 「野中寺」交差点から南へ5分

●自動車（大阪市内から（約30－40分））

阪神高速松原線（or近畿自動車道）松原JCT → 阪和自動車道 美原JCT → 南阪奈道路 美原東IC出

→道の駅「しらとりの郷・羽曳野」交差点左折

阪神高速松原線（or近畿自動車道）→ 西名阪自動車道 藤井寺IC出 → 大阪外環状線「軽里北」交差点右折

<https://www.ra.opho.jp/>

大阪はびきの医療センター



Facebook



Instagram



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1

TEL : 072-957-2121(代)

FAX : 072-958-3291(代表)

FAX : 072-957-8051（地域連携室）